

本 会 記 事

会 告	令和 8 年熊本地震による会員様向け支援措置について665	欧文誌編集委員会からのお知らせ672
	会費の自動振替制度のご案内666	2027年度新規「産学協創研究会」の申請募集 673
	シニア制度について666	講演大会分野(分科)改編お知らせ674
	永年会員制度について666	2027年度、2028年度講演大会委員候補者の推薦のお願い675
	終身会員制度について666	講演大会セッション分類676
	ユース会員制度について666	第50回技術開発賞募集679
	2026年秋期講演大会参加申込みについて667	(予告)オンライン教育講座「基礎シリーズ」新規開講のご案内680
	ランチョンセミナー開催のお知らせ669	金属学会講習会：現地開催680
	学生および若手研究者のためのキャリアサポートランチョンセミナー669	日本金属学会オンライン教育講座開催案内681
	学生キャリアサポート・企業展示669	オンデマンド配信：オンライン教育講座開催案内684
	秋期講演大会付設展示会開催のお知らせ669	金属学会シンポジウム開催報告687
	第 8 回自動車関連材料合同シンポジウムのお知らせ670	掲示板688
	秋期講演大会託児室設置のお知らせ670	会誌・欧文誌 9 号目次690
	第15回女性会員のつどいのご案内670	次号予告691
	令和 8 年秋季全国大学材料関係教室協議会講演会のご案内670	新入会員692
	2027年春期講演大会 国外研究者特別講演・国外研究者招待講演推薦募集671	行事カレンダー694
	2027年度金属学会シンポジウムのテーマ募集 672	

会 告 (ホームページもご参照下さい)

令和 8 年熊本地震による会員様向け支援措置について

(公社)日本金属学会

このたびの「令和 8 年熊本地震」により被災・避難された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

(公社)日本金属学会では、「会員に関する規程 第11条」に基づき、被災地域にお住まいまたは勤務・通学されている会員の皆さまを対象に、**会費免除の支援措置**を実施いたします。

支援措置をご希望の方は、下記の内容をご確認のうえ、事務局までご連絡下さい。

特例措置

- 当該年度の会費を未納の場合：当該年度の会費を免除いたします。
- 当該年度の会費を納入済みの場合：翌年度の会費を免除いたします。

災害救助法適用地域(熊本県内10市10町 1 村)

熊本市、八代市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、上天草市、宇城市、天草市、合志市、下益城郡美里町、菊池郡大津町、菊池郡菊陽町、阿蘇郡西原村、上益城郡御船町、上益城郡嘉島町、上益城郡益城町、上益城郡甲佐町、八代郡氷川町、葦北郡芦北町、葦北郡津奈木町

申し出先 〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

(公社)日本金属学会 会員サービス係

E-mail: member@jimmm.jp ☎ 022-223-6312

会費の自動振替制度：新規申し込み中止のご案内

2025年10月1日の会員管理システムの変更に伴い、会費の自動振替制度の新規申込を中止しております。

自動振替制度の新規申込を検討されておられる皆様には、オンライン決済(クレジットカード決済)のご利用をお願い申し上げます。

なお、現在自動振替をご利用の皆様には、システム変更後も引き続き自動振替をご利用いただけますが、この機会にオンライン決済(クレジットカード決済)のご利用をご検討いただければ幸いです。

問合せ先 (公社)日本金属学会 会員サービス係
☎ 022-223-3685 E-mail: member@jimmm.jp

シニア会員制度について

65歳以上の正員の会費を半額とする「シニア会員」制度を設けています。

シニア会員は電子ジャーナルの閲覧のみが可能となっておりますが、冊子をご希望される方は実費相当額の3,000円をお支払いいただければ購読することができます。シニア会員を希望される方は申請が必要となりますので、**2026年11月20日(金)**までに、事務局にご連絡下さい。手続き詳細は事務局よりお知らせいたします。

問合せ先 (公社)日本金属学会 会員サービス係
☎ 022-223-3685 E-mail: member@jimmm.jp

永年会員制度について

本会では長年にわたり本会の発展に尽力された会員の労に報いるため、永年会員制度を設けております。自己申告制となっておりますので、該当すると思われる方は、**2026年9月23日(水)**までに、事務局にご連絡下さい。手続き詳細は事務局よりお知らせいたします。

ご申請いただきました方につきましては、事務局にて調査確認の上、該当者については理事会に諮り、承認の上ご案内申し上げます。

永年会員制度 会員歴が継続して40年以上でかつ満71才以上の会員に対し「永年会員」の称号を贈る。
永年会員は正員会費を免除する。

受付締切 **毎年9月23日**

永年会員資格付与 毎年1月1日

問合せ先 (公社)日本金属学会 会員サービス係
☎ 022-223-3685 E-mail: member@jimmm.jp

終身会員制度について

入会歴が40年に満たないため永年会員となっていない(満60歳以上満65歳以下)の会員の方には、70歳までの会費を前納いただくと終身会員の称号を贈り、以降の会費を免除いたします。前納会費の額は70歳までの会費の総額に比べて割安となっておりますので、ぜひご利用下さい。

年齢(該当する年の1月1日)	前納会費	70歳までの通常会費
60歳	80,000円	132,000円
61歳	70,000円	120,000円
62歳	65,000円	108,000円
63歳	55,000円	96,000円
64歳	50,000円	84,000円
65歳	40,000円	72,000円

ご希望される方は、お手元に届いた会費の請求書は使用せず、**2026年11月20日(金)**までに、事務局にご連絡下さい。手続き詳細は事務局よりお知らせいたします。申請内容確認後、前納会費の請求書をお送りします。

問合せ先 (公社)日本金属学会 会員サービス係
☎ 022-223-3685 E-mail: member@jimmm.jp

ユース会員制度について

若い世代の皆さんに金属材料に関する研究や開発の世界に触れてもらい、金属材料の面白さを知ってもらうことを目的に、次世代を担う若い人たちを対象とした会費無料の「ユース会員」を設けています。会員の皆様のご子弟の方々にお知らせしていただき、ユース会員になっていただけるようにお勧めいただければ幸いです。

対 象 中高生、高専専科1年生以下、大学3年生以下
※対象上限の学年になるまで自動継続されます。

入会金・会費 不要

※入会には保護者の同意が必要です。

特典

- ・ユース会員証の発行
- ・金属学会特製缶バッジの贈呈
- ・まてりあ電子ジャーナルの無料閲覧
- ・金属学会刊行の電子書籍の無料閲覧
- ・講演大会への無料参加(発表は有料)
- ・ユース会員向けイベントの無料参加
- ・会員価格でのイベント参加や書籍購入

入会申込 ユース会員への入会は随時受け付けています。
本会ホームページの「新規入会申込み」ページからお申し込み下さい。

2026年秋期(第179回)講演大会ご案内と参加申込について

2026年秋期講演大会を、9月23日(水・祝)から25日(金)まで、秋田大学手形キャンパスで開催します。
参加申込みは、すべてインターネットでの申込みです。詳細は、下記参加申込要領をご確認下さい。

～ 講演大会日程(会期は3日間になります) ～

日 時	行 事
9月23日(水・祝) 9:00～9:40 13:00～17:00 10:00～17:00 18:30～20:30	開会の辞, 贈呈式 ポスターセッション, 高校生ポスターセッション シンポジウム講演(一般講演は行いません) 懇親会
9月24日(木) 9:00～18:00	学術講演
9月25日(金) 9:00～17:00	学術講演

◆懇親会

開催日時：2026年9月23日(水・祝) 18:30～20:30

開催場所・料金：秋田キャスルホテル 8号595ページをご覧ください。(予約申し込みは締め切りました)

～ 講演大会参加申込～

◆申込の種別と申込期間

(注意1：会員の方で、本年度会費未納の方は参加申込ができません。)

(注意2：締切日までに入金がない場合は、キャンセル扱いとなります。)

1) 事前申込：締め切りました。

2) 後期(当日)申込

申込期間：2026年9月1日(火)～9月25日(金)

3) 相互聴講(鉄鋼協会参加者 現地申込のみ)

申込期間：2026年9月23日(水・祝)～25日(金)

◆申込サイト：https://jimm.smoosy.atlas.jp/mypage/login(A-pass作成またはログイン後、申込開始。)

*注意：会員の方は、年会費納入が完了していないと申し込みができません。

◆決済方法：クレジットカード、銀行振込

◆大会参加費(講演概要ダウンロード権含む)および登壇費 ※年会費とは異なります。

参加費・懇親会の消費税の取扱いは、ホームページ(一覧表PDF)をご参照下さい。

会 員 資 格	後期(当日)申込 (2026年9月1日 ～9月25日)	相互聴講 (会期中のみ)
正員	18,000円	—
非会員の維持員会社社員	18,000円	—
非会員のシンポジウム共催・協賛の学協会会員	18,000円	—
2026年3月1日時点で65歳以上の個人会員*1	無 料	—
学生員*2	7,000円	—
ユース会員*3(中高生会員, 高専専科1年生以下, 大学3年生以下)	無 料	—
非会員*4 一般	32,000円	—
非会員*4 学生(大学院生含む)	16,000円	—
鉄鋼協会講演大会参加者(一般学生問わず) 講演者は選択できません。	—	6,000円

- お支払後の取消は、ご返金できませんのでご了承下さい。
- 期日までに支払いを確認できない場合は、キャンセルとさせていただきます。
- 領収書は、決済完了後に申込画面(「講演大会 MyPage」)からダウンロードし、印刷して下さい。

- *1 **65歳以上の個人会員**：会員情報に生年月日の登録がない場合は課金されます。会員情報に生年月日を登録していない方は、**参加申込みの前に annualm@jimm.jp まで**会員番号・氏名・連絡先・生年月日をお知らせ下さい。
- *2 **学生員**：卒業予定変更等により登録されている会員種別が実際と異なる場合は、**事前に会員種別の変更手続きを行ってから**、大会参加を申込み下さい。会員情報に登録された卒業年次を超えると、自動で正員に変更されています。
- *3 **ユース会員が高校生ポスター発表以外で発表する場合は、登壇費5,000円が必要。**
- *4 非会員の参加申込者には、春秋大会への参加の場合は当該年の3月から12月末まで、秋期大会への参加の場合は当該年の9月から翌年6月末まで会員資格を付与する。ただし特典は重複して付与しません。

◆参加証

「講演大会 MyPage」で「参加証」を印刷し、当日持参して会場に入して下さい(受付は不要です)。

*「参加証ケース」をお持ちの方はご持参下さい。ケースが必要な方には受付で配布します。

◆講演概要の閲覧・ダウンロード

公開場所：講演大会ウェブサイト(ログイン必要)

公開日：大会2週間前の**2026年9月9日(水)**(特許関係の手続きは、公開日までに済ませて下さい。)

概要閲覧方法：参加費決済を完了後、「A-Pass」でログインいただくことで、参加者限定ページをご覧いただけます。

◆講演概要集の購入

講演概要集は作成していません。全ての講演概要は、講演大会ポータルサイトで公開をします。これまで概要集のみを購入されていた場合は、大会への参加登録をして、講演大会ウェブサイトから概要を閲覧して下さい。

◆相互聴講申込

鉄鋼協会の講演大会に参加された方は、相互聴講料金で本会の講演大会を聴講できます。

申込資格：日本鉄鋼協会に参加登録された方。(会員資格問わず)

申込方法：講演大会当日に鉄鋼協会講演会場の受付で参加証を受け取った後に、金属学会相互聴講申込サイトで申込みおよび決済完了後、決済済み画面と鉄鋼協会講演大会の参加証を日本金属学会受付に提示して下さい。確認後、参加証に「相互聴講」の押印をします。

(注)鉄鋼協会講演大会の相互聴講は、金属学会の講演大会参加申込を完了した後、鉄鋼協会の相互聴講申込サイトで相互聴講の申込みと決済を行って下さい。(詳細は鉄鋼協会へお問い合わせ下さい。)

◆問合せ先：(公社)日本金属学会 講演大会係 annualm@jimm.jp ☎ 022-223-3685

◆2026年秋期(第179回)講演大会会場周辺のご案内：まてりあ7号535頁をご覧ください。



手形キャンパスの全景。



手形キャンパスを正門から臨む。

～ 皆さまのご参加をお待ちしております。～

ランチョンセミナー開催のお知らせ

秋期講演大会にて、ランチョンセミナーを開催いたします。本セミナーは、参加者の皆様に講演大会の昼食時間を利用して昼食をとって頂きながら、企業による最新の技術情報を聴講いただく企画です。参加無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

主 催 公益社団法人 日本金属学会

企 画 株式会社 明報社

日 時 9月24日(木) 12:10~12:50

会 場 秋田大学・手形キャンパス 金属学会講演会場

参加費 無料 昼食(ドリンク付)を無料提供いたします。

参加方法 9月24日(木) 8:30より参加券を「付設展示会場」付近にて配布いたします。

日本金属学会、または日本鉄鋼協会の大会参加証をご提示下さい。引き換えにご希望のセミナー参加券をお渡しいたします。時間になりましたら、参加券をご持参の上、セミナー会場までお越し下さい。

※予定数に達し次第、配布は終了いたします。(参加券をお持ちでない場合でもご聴講頂ける場合がございます。)

※ランチョンセミナーは同業者様等のご入場(セミナー参加券をお持ちの場合でも)をお断りする場合がございます。

予めご了承下さい。

参加予定企業

9月24日(木) 12:10~12:50

・オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社

B会場(教育文化学部3号館2F254)

「in-situ 加熱・引張試験に対応するEBSDシステムとパターンマッチングの最新情報」

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社 イメージングアンドアナリシス事業本部 アプリケーショングループ 五十嵐 誠

学生および若手研究者のための キャリアサポートランチョンセミナー

秋期講演大会にて、学生および若手研究者のためのキャリアサポートランチョンセミナーを開催いたします。本セミナーは、学生参加者の皆様に講演大会の昼食時間を利用して昼食をとって頂きながら、企業による会社概要、今後の採用情報やインターンシップ募集情報、研究開発動向等を聴講いただく企画です。質疑応答時間も取っております。参加無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

主 催 公益社団法人 日本金属学会

企 画 株式会社 明報社

日 時 2026年9月24日(木) 12:10~13:30

会 場 秋田大学・手形キャンパス 金属学会講演会場

参加費 無料 昼食(ドリンク付)を無料提供いたします。

参加方法 9月24日(木) 8:30より参加券を「付設展示会場」付近にて配布いたします。

日本金属学会、または日本鉄鋼協会の大会参加証をご提示下さい。引き換えにご希望のセミナー参加券をお渡しいたします。時間になりましたら、参加券をご持参の上、セミナー会場までお越し下さい。

※予定数に達し次第、配布は終了いたします。(参加券をお持ちでない場合でもご聴講頂ける場合がございます。)

参加予定企業

9月24日(木) 12:10~13:30(3社合同開催)

K会場(国際資源学部1号館3階S302)

・石福金属興業株式会社

「こんなところにも貴金属? 日常を支える素材技術の世界」

・合同製鐵株式会社

「会社概要と採用イベントのご案内」

・株式会社日本製鋼所

学生キャリアサポート・企業展示

秋期講演大会にて、学生キャリアサポート・企業展示&カタログ展示を開催いたします。本企画は、学生参加者の皆様に、各社の展示ブースにて、各社の会社概要、今後の採用情報、インターンシップ募集情報、研究開発動向等を紹介解説するものです。学生参加者の皆様には、是非ご来場頂き、リクルート活動にお役立て下さい。参加・見学無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

主 催 公益社団法人 日本金属学会

企 画 株式会社 明報社

日 時 9月23日(水)~25日(金) 9:00~17:00

※25日は、13:00まで(予定)

会 場 大学会館 1F(本会受付付近)

参加・見学 無料

参加予定企業(7月末現在)

・石福金属興業株式会社

・古河電気工業株式会社

・JFE スチール株式会社

付設展示会開催のお知らせ

秋期講演大会にて、付設展示会を開催いたします。金属材料関連各社の製品やサービスを紹介いたします。

また、展示会場では、ランチョンセミナー、学生キャリアサポートセミナーのチケット配布(無料)、コーヒー無料サービス、ミールクーポンを進呈するスタンプラリーも実施する予定です。是非、展示会場へご来場下さい!(大会ホームページでも出展情報を掲載いたします)

開催期間 9月23日(水)~25日(金) 9:00~17:00

※25日は13:00まで

展示会場 秋田大学・手形キャンパス・大学会館 1F

出展予定企業(7月末現在)

・アメテック株式会社

・茨城県中性子ビームライン

・オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社

・株式会社新興精機

・テガラ株式会社

・株式会社ニューメタルスエンドケミカルスコーポレーション

・フリッチュ・ジャパン株式会社

・ブルカー・ジャパン株式会社

・株式会社モルシス

・株式会社レーザー計測

第8回自動車関連材料合同シンポジウムのお知らせ 「持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向」

秋期講演大会において、第8回自動車関連材料合同シンポジウム「持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向」(共催：日本金属学会・日本鉄鋼協会、協賛：自動車技術会材料部門委員会・日本塑性加工学会)を下記の通り開催いたします。講演資料は有料で販売いたしますので、ご希望の方は、下記の資料購入方法を参照の上、ご購入下さい。

日時 2026年9月23日(水・祝)10:30~15:30

会場 秋田大学 手形キャンパス 教育文化学部3号館1F-145(日本金属学会A会場)

プログラム 詳細は、まてりあ8号596頁またはホームページをご覧ください。

参加費 無料(資料購入を希望される場合は、下記参照)

資料購入方法 下記のURLにアクセスしてお申し込み下さい。

資料購入URL: <https://forms.gle/E6jBBHaNPYr3QKqi9>

価格: 5,500円/冊(税込)

購入代金のお支払いを確認後、郵送もしくはシンポジウム当日に日本金属学会講演大会総合受付にて資料冊子をお渡しします。なお、総合受付でのお渡し時に決済完了通知メールもしくは領収書の写しを確認しますので、ご持参下さい。また、郵送を希望される場合は、別途送料(380円)が必要です。

資料は20部限定です。なくなり次第、資料の販売を終了します。

参加方法

【日本金属学会講演大会に参加される方】本シンポジウムへの参加登録手続きは不要です。

【日本鉄鋼協会講演大会に参加される方】講演大会概要集「材料とプロセス」を年間予約された方、あるいは前期または後期(当日)申込される方は、本シンポジウムへの参加登録手続きは不要です。

【本シンポジウムのみに参加される方】講演大会への参加登録は不要です。直接会場にお越し下さい。

問合せ先 (公社)日本金属学会 事務局 ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312 E-mail: secretary_gen@jimm.jp

**2026年秋期講演大会会期中の託児室設置のお知らせ**

設置期間および利用時間(開始、終了時間は予定です)

設置期間	利用時間
2026年9月23日(水・祝)	8:30~17:30
9月24日(木)	8:30~18:00
9月25日(金)	8:30~17:00

場所 秋田大学キャンパス内(申込者へ直接ご連絡します)

対象・利用料金 0歳1か月(1か月検診終了後より)

~小学6年生 無料

利用シッター会社 NPO法人「ここはぐ」

申込方法

・日本金属学会・日本鉄鋼協会ホームページ託児室案内の託児室利用規程をご確認の上、申込専用サイト(<https://forms.gle/vLxfXumxaqSrgFyBA>)に必要な事項を入力の上お申し込み下さい。

・シッター業社からの返信をもって受付完了となります。

※申込受領後3営業日以内に、NPO法人「ここはぐ」より返信メールをお送りします。

申込期間 2026年8月1日(土)10時~9月16日(水)まで

(定員に達し次第締め切らせて頂きます)

申込・問合せ先 NPO法人「ここはぐ」

担当)小田嶋麻貴子 ☎ 070-1148-5589

E-mail: kokohug.akita@gmail.com

**日本鉄鋼協会・日本金属学会
第15回女性会員のつどいのご案内**

講演大会期間中、以下の日程で女性会員のつどいを行います。まだまだ少ない女性会員同士、気軽に意見交換をして楽しいひとときを過ごしませんか。

主催 日本鉄鋼協会・日本金属学会男女共同参画委員会
日時 2026年9月25日(金)12:00~13:00
会場 秋田大学 国際資源学部1号館3階S301
内容 女性会員の交流・人脈作り。キャリアデザイン意見交換。職場の環境や人間関係で困ったこと等本音トーク。学会への要望。などなど

参加資格 鉄鋼協会・金属学会の女性会員、女子学生

参加申込 申込みは不要です。直接、会場へお越し下さい。ささやかですがお菓子を準備してお待ちしています。お弁当・お茶の用意はございませんので、必要な方はご持参下さい。

問合せ先 日本鉄鋼協会・日本金属学会 男女共同参画委員会委員長 大出真知子

E-mail: ODE.Machiko@nims.go.jp

日本鉄鋼協会と日本金属学会が合同で設置した男女共同参画合同委員会は、2007年から継続して活動を行っており、来年で20周年を迎えます。学会期間中の託児室合同設置、若い会員向けのキャリアパスを考えるランチョンミーティング、合同ホームページや育児・男女共同参画等の情報交換をするためのメーリングリストの開設を行うなど、金属・材料分野における女性会員の活動を支援し、女性会員の増強を目指しています。

令和8年秋季 全国大学材料関係教室協議会 講演会のご案内

主催 全国大学材料関係教室協議会
日時 2026年9月25日(金)15:00~16:00
場所 秋田大学手形キャンパス 教育文化学部3号館145(60周年記念ホール)(金属学会A会場)

聴講料 無料

講演会 次世代エネルギー社会に向けた触媒設計の新潮流
大阪大学大学院工学研究科 教授 森 浩亮先生

2027年春期講演大会 国外研究者特別講演・国外研究者招待講演 推薦募集
(旧外国人特別講演・外国人招待講演)

推薦締め切り：2026年11月17日(火)

春秋大会における国外研究者による特別講演と招待講演については会員(正員)からの推薦をもとに、国際学術交流委員会において審議採択し、講演実施細目については講演大会委員会で決定いたします。2027年春期講演大会の特別講演と招待講演を募集いたしますので、下記要領によりご推薦下さい。

(実施ルール)

講師の定義と選定基準

・特別講演者(Special Keynote Speaker)

日本国外で活動する研究者の内、当該分野において世界最高峰の業績や知名度を有し、イベントのメインスピーカーとなる者として推薦され、国際学術交流委員会にて承認された者。春秋の各講演大会に対して、原則として4名までとする。

・招待講演者(Invited Speaker)

日本国外で活動する研究者の内、特定のセッションやシンポジウムにおいて、専門的な知見を共有する者として推薦され、国際学術交流委員会にて承認された者。春秋の各講演大会に対して、原則として5名までとする。

招聘・承認プロセス

1. 推薦・申請：推薦者は、所定の「国外研究者 特別・招待講演 申請書」(所属、役職、経歴、研究業績、講演題目、セッション名、推薦理由、推薦者名、補助概算額を含む)を指定の期日までに事務局へ提出する。推薦者の資格は正員とする。
2. 審査・承認：国際学術交流委員会にて費用対効果およびプログラムへの貢献度を審議して承認し、理事会にて報告を行う。
3. 依頼状(Invitation Letter)の送付：承認後、会長名義で公式な依頼状を英文にて送付する。

待遇・費用負担基準

区 分	特別講演者	招待講演者
講演時間	講演30分～50分/討論10分	講演15分～25分/討論5分
謝金	本会の謝金規程の額を支給	本会の謝金規程の額を支給
参加登録費	免除(本人のみ)	免除(本人のみ)
懇親会招待	あり	あり

運営・サポート体制(アテンド)

招聘講師の講演大会参加アテンド、ビザ取得サポート、保険等は原則として推薦者が行うこととする。

講演当日の運用

言語と座長(Chairperson)

○講演は原則として英語(または指定の言語)で行う。

○座長は、該当分野の専門家であり、かつ英語での質疑応答を円滑にファシリテーションできる者を配置する。

プログラムおよび講演概要

- (1) すべての講演者に対し、他講演と同等形式(A4サイズ・1枚)の講演概要の提出を義務付ける。提出は推薦者を通じ事務局に期日までに提出する。
- (2) 推薦書申請の際に記載された講演題目で講演登録となり、プログラムは同申請内容のセッションまたはシンポジウムでプログラム編成を行う。

著作権および配信の取扱い

提出された講演概要の著作権は本会に帰属するものとする。また、オンライン配信等を行う場合、発表内容の無断録画・録音・撮影は一律禁止とする。

推薦用紙

所定様式(ホームページからダウンロード下さい)により、下記メールアドレス宛に「国外研究者特別講演推薦」と明記のうえ、お送り下さい。送信後2～3日過ぎても受理メールの無い場合はお問い合わせ下さい。

推薦書提出期日 2026年11月17日(火)

照会・推薦書提出先

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32 (公社)日本金属学会 国際学術交流委員会宛

FAX 022-223-3685 E-mail: stevent@jimmm.jp

2027年度 金属学会シンポジウム*のテーマ募集

提案期限：2026年10月6日(火) 厳守

シンポジウムの開催趣旨

金属学会シンポジウムは、話題性のあるトピックス等の特定のテーマに関心をもつ研究者が集まって、講演発表、相互討論を行い、問題への共通認識を深め、今後の研究の発展に資することを目的として実施する。

今回募集するシンポジウムの開催時期 2027年度(2027年3月1日～2028年2月29日)内に実施

応募要領 提出書類：提案書を下記提出先に送付して下さい。(提案書の様式はホームページよりダウンロードして下さい。)

提案締切：2026年10月6日(火)

提案書提出・問合せ先

下記宛てに E-mail で送付して下さい。2, 3 日過ぎても受理の通知が届かない場合はご連絡下さい。

(公社)日本金属学会 セミナーシンポジウム委員会宛

E-mail: stevent@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

欧文誌編集委員会からのお知らせ

特集企画の投稿募集

■Materials and Technologies for Sustainable Development(持続可能な開発のための材料と技術)

エネルギー効率・材料効率の高い技術と長寿命設計をもたらす持続可能な開発に向けた材料アプローチが進められています。具体的には、鋼材製造・処理技術、構造部品の破壊解析、材料劣化プロセス、ナノ構造材料、使用中構造部品の損傷・信頼性、材料研究成果の産業への移転などです。「持続可能な開発のための材料と技術」と題する本特集号は、それらに関する最新の研究成果を募集します。本号は、2026年11月16日～18日に横浜で開催される「第11回構造部品損傷・破壊解析新手法国際ワークショップ」に合わせて原稿を募集予定です。持続可能な開発のための材料に関する現状と将来に向けた寄稿論文と総説を収録します。

Topics :

steels, process technology, failure analyses, degradation processes, nanostructured materials, damage and reliability in service

上記テーマに関する特集を、Materials Transactions 68巻8号(2027年8月発行)に予定しております。多数ご投稿下さいますようお願いいたします。

掲載予定号：第68巻第8号(2027年)

原稿締切日：2027年2月1日(月)

- ・投稿に際しては、日本金属学会欧文誌投稿の手引・執筆要領(本会 Web ページ)に従うこと。
- ・通常の投稿論文と同様の審査過程を経て、編集委員会で採否を決定する。
- ・著者は、投稿・掲載費用をご負担願います。

問合せ先 〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

(公社)日本金属学会 欧文誌編集委員会

☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312 E-mail: sadoku@jimm.jp

<https://jimm.jp>

2027年度新規「産学協創研究会」の申請募集

申請締切 2026年11月27日(金)

本会では、分野を超えた取り組みを強化すべき課題に対して産・学・官が連携して取り組んでいくことを目的とした「産学協創研究会」を新設いたしました。

登録を希望される方は下記の実施要領および規則を参照の上、申請書を提出して申請下さい。

【産学協創研究会実施要領】

1. 目的

分野を超えた取り組みを強化すべき課題に対して産・学・官が連携して取り組んでいくことを目的とする。

2. 組織・構成員

- 組織は以下の通りとする。
 - (1)代表世話人：1名
 - (2)副代表世話人：1名(必要に応じておくことができる)
 - (3)世話人：数名
 - (4)構成員：数名
- 代表世話人は会員の中から選任すること。
- 必要に応じて副代表世話人を置くことができる。
- 代表世話人、副代表世話人、世話人のいずれかは民間企業から選任すること。
- 構成員は主に会員の中から選任するが、必要に応じて外部の専門家から選任することができる。
- 原則として、構成員の三分の一以上を民間企業から選任すること。

3. 活動期間・構成員の任期

- 本研究会の活動期間は1期4年以内とする。
- 本研究会の構成員の任期は、当該研究会の活動期間とする。
- 必要に応じ、理事会の決議により、活動期間を1期4年間以内ずつ延長することができる。

4. 設置

- 本研究会は、理事会によって設置するもののほか、公募する。
- 応募されたものの審査は、企画委員会で第1次審査を行い、理事会で最終審査して、設置を決定する。
- 理事会によって設置するものは、理事会で審査して、設置を決定する。
- 審査基準
 - (1)目的が明確か
 - (2)分野を超えたテーマや取り組みとなっているか
 - (3)産・学・官が連携して取り組んでいるものとなっているか
 - (4)類似の研究会はないか
 - (5)代表世話人、副代表世話人、世話人のいずれかが民間企業から選任されているか
 - (6)構成員は適切か
 - (7)活動は適切か
 - (8)本会のシンポジウム等を開催できるか

5. 費用

- 年間500,000円を上限として、費用を負担する。
- 活動費の使途は、会議費(会場費、会議中のお茶代・弁当代)、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、業務委託費等の運営費用とする。

6. 申請

- 新規申請書ならびに継続申請書は11月末までに本会事務局を通じて企画委員会委員長に申請する。
*申請書は下記の問い合わせ先に請求下さい。
- 新規応募の申請書に記載する事項
 - (1)研究会の名称
 - (2)代表世話人(氏名、所属、役職名、TEL、E-mail)
 - (3)副代表世話人(選任した場合のみ)
 - (4)世話人の名簿
 - (5)構成員の名簿
 - (6)活動目的
 - (7)活動期間(1期4年以内)
 - (8)活動計画(活動の概要及び各年度の活動計画、活動案)
 - (9)予算(各年度の見込み)
 - (10)特記事項(申請者の要望等)
- 継続申請に記載する事項
 - (1)研究会の名称
 - (2)代表世話人(氏名、所属、役職名、TEL、E-mail)
 - (3)副代表世話人(選任した場合のみ)
 - (4)世話人の名簿
 - (5)構成員の名簿
 - (6)これまでの成果報告
 - (7)継続理由
 - (8)延長期間(1期4年以内)
 - (9)今後の活動計画(活動の概要及び各年度の活動計画、活動案)
 - (10)予算(各年度の見込み)
 - (11)特記事項(申請者の要望等)

7. 活動

- 研究集会の開催
- 金属学会のシンポジウム(公募、企画、金属学会)の開催
- 調査

8. 報告

- 毎年度末までに、活動報告書および収支報告書を提出する。
- 当該活動期終了ごとに(終了研究会は終了時、継続研究会は1期終了時)、成果報告を提出する。成果報告は、本会ホームページおよびまてりあに公表する。
- 成果報告には、研究集会やシンポジウム等の開催記録、得られた知見、今後の展開等を記載する。

9. 問合せ先・申請先

日本金属学会 事務局長
E-mail: secretary_gen@jimm.jp
☎ 022-223-3685

講演大会分野(分科)改編のお知らせ

2026年9月1日

講演大会委員会委員長 安田 弘行

日本金属学会は、「金属に関する理論ならびに工業の進歩発達をはかること」を目的に、材料科学分野のリーディング学会として、金属及びその関連材料に関する研究成果を、世界に発信する活発な活動を展開しています。

講演大会委員会では、2019年に講演大会を情報発信と研究者・技術者の交流の場として位置付け、講演大会における討論が更に活発化するようセッション改編と、立場の異なる研究者・技術者にとっても魅力ある講演大会となるよう9つの分野(分科)体制に再編を行いました。2027年度より以下の表に示すような体制に変更することといたしました。具体的には、材料科学の基盤である金属物性に関する共通の議論の場を設けるため、第2分野の金属物性を独立させるとともに、近年のデータ科学、AIに対する関心の高まりを受けて、第11分野に計算科学・データ科学・AI分野を新設いたしました。

2027年春期講演大会から、再編された分野(分科)で募集をいたします。

《これまでの9分野体制から11分野体制とする》

現分野(分科)体制		新分野(分科)体制	
第1分野(分科)	1. 材料と社会 12. 先進機能材料	第1分野(分科)	1. 材料と社会 12. 先進機能材料
第2分野(分科)	2. 物性 9. 電気・磁気関連材料	第2分野(分科)	2. 金属物性
第3分野(分科)	3. 組織 11. 計算科学	第3分野(分科)	3. 材料組織
第4分野(分科)	4. 力学特性	第4分野(分科)	4. 力学特性
第5分野(分科)	5. 材料化学	第5分野(分科)	5. 材料化学
第6分野(分科)	6. 材料プロセッシング	第6分野(分科)	6. 材料プロセッシング
第7分野(分科)	7. 生体・医療・福祉	第7分野(分科)	7. 生体・医療・福祉
第8分野(分科)	8. 構造材料	第8分野(分科)	8. 構造材料
第9分野(分科)	10. エネルギー関連材料	第9分野(分科)	9. 電気・磁気関連材料
		第10分野(分科)	10. エネルギー関連材料
		第11分野(分科)	11. 計算科学・データ科学・AI

2027年度、2028年度講演大会委員候補者の推薦のお願い

講演大会委員および調査研究委員は、2027年4月の定時社員総会日が交替時期となっており、学会活動の一層の活性化を図るため、各界から積極的にご協力いただける気鋭の人材を求めています。以下の要領で、次期講演大会委員候補者の推薦を募集いたします。

1. 講演大会委員選出：約180名程度を選出します。
2. 構成員の任期：2027年定時社員総会当日から2年後の定時社員総会終了時まで。
3. 組織の体制(講演大会委員会、調査研究委員会)

講演大会委員会	調査研究委員会	分 類
1 分野	1 分科	材料と社会および先進機能材料
2 分野	2 分科	金属物性
3 分野	3 分科	材料組織
4 分野	4 分科	力学特性
5 分野	5 分科	材料化学
6 分野	6 分科	材料プロセッシング
7 分野	7 分科	生体・医療・福祉
8 分野	8 分科	構造材料
9 分野	9 分科	電気・磁気関連材料
10分野	10分科	エネルギー関連材料
11分野	11分科	計算科学・データ科学・AI

4. 講演大会委員会の構成員

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 各分野の委員長 1名
- (4) 各分野の副委員長 1名
- (5) 各分野の幹事 数名
- (6) 各分野の委員 数名
- (7) その他理事会の決議による構成員 数名

5. 調査研究委員会組織の構成員

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 各分科の委員長 1名
- (4) 各分科の副委員長 1名
- (5) 各分科の幹事 数名
- (6) その他理事会の決議による構成員 数名

6. 委員候補者の資格 金属学会正員であり、2027年4月末時点で45歳以下の方。

7. 推薦資格 現講演大会委員または2名以上の正員の連名による推薦(自薦も可)自薦の場合も、上記の推薦者は必要です。

8. 推薦用紙記入方法

所定の推薦用紙で以下を明記の上、金属学会事務局宛(下記メール宛)に推薦下さい。

推薦された方は、講演大会企画委員会において次期委員候補者を協議いたします。

推薦用紙はホームページよりダウンロードできます。

①候補者氏名 ②生年月日 ③推薦分野(分科) ④勤務先・職名 ⑤連絡先住所・電話・E-mail

9. 候補者推薦締切 2026年10月2日(金)

問合・送付先 〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32 (公社)日本金属学会講演大会委員会 担当係

☎ 022-223-3685 E-mail: stevent@jim.jp

◇講演大会セッション分類(セッションキーワード・キーワード)◇

※キーワードは11月に確定いたします。

新分野	大分類	中分類	No	セッションキーワード	キーワード
1 分野	1.材料と社会	材料と社会	1.1	教育	専門教育、共通教育、企業での教育、生涯教育、小・中・高校生への教育、カリキュラム、授業の実践、教材・教育の評価、社会人教育
			1.2	歴史・材料考古学	金属学・材料科学の歴史、金属技術の歴史・変換、材料考古学、文化財保存
			1.3	技術革新・技術伝承	IoT、マテリアルインターフェース、マテリアルソフトエンジニアリング、材料情報、知的所有権、その他の金属学・材料学に関連した新分野・境界分野
			1.4	環境	LCA、リスクマネジメント、資源経済、環境・資源政策、材料の環境信頼性評価、製造物責任、環境低負荷材料、易リサイクル材料・設計、易解体設計、マテリアルセレクション、省材料設計、高寿命材料・設計、材料のリサイクルシステム、材料資源環境システム、再資源化用途開発、土壌浄化、環境修復
			1.5	ダイバーシティ	男女共同参画、LGBTI、国際化、学際協力、世代間・業種間融合
			1.6	新領域・その他	
	12.先進機能材料	先進機能材料	12.1	萌芽材料	
			12.2	新領域・その他	
2 分野	2.金属物性	金属物性	2.1	磁気機能・磁気物性	磁気的性質、磁気光学的性質、電子状態、熱磁気効果(スピンゼーベック効果、異常ネルンスト効果、磁気熱量効果、磁気ハイパーサーミア等)、核物性等
			2.2	半導体機能・電気物性	誘電的性質、光学的性質、電子輸送、薄膜・表面・界面物性、熱的性質(ゼーベック効果、ペルチェ効果等)、原子輸送、金属絶縁体転移等
			2.3	構造物性	結晶成長、結晶構造、準結晶構造、非晶質固体構造、格子ダイナミクスと安定性、相転移(変態)、不整合・整合構造、格子欠陥、粒界等
			2.4	物性評価	照射効果、ナノスケール量子効果、トンネル効果、メスバウアー効果、核磁気共鳴、分光・発光・回折一般等
			2.5	新領域・その他	
3 分野	3.材料組織	相安定性・相変態	3.1	熱力学・状態図・相平衡	熱力学、状態図、相平衡、準安定、非平衡、相転移、金属間化合物、規則-不規則転移、磁気転移等
			3.2	拡散・相変態	拡散、偏析、析出、拡散変態、規則-不規則変態、不連続析出、粒界・相界面上析出等
			3.3	マルテンサイト変態・変位型相変態	マルテンサイト変態、変位型相変態(ベイナイト変態含む)、形状記憶・超弾性材料、磁性形状記憶合金、TWIP・TRIP、エージング・テンパリング、双晶変形、熱・応力・磁場・電場誘起相変態、組織制御、組織形成と機械的性質、プロセスング(粉末冶金・複合材料含む)、SMA アクチュエータ・応用、マルテンサイト変態に関わる材料機能(ダンピング、磁気・弾性熱量効果等)等
			3.4	合金・アモルファス・準結晶	アモルファス、金属ガラス、準結晶、高エントロピー材料等
		組織制御	3.5	組織制御	時効・析出、熱処理、加工、加工熱処理、合金元素添加、急冷凝固、メカニカルアロイ、界面接合強さ、複合化、多層化、薄膜、積層造形、ミルフィューコ構造、コーティング、シミュレーション等
			3.6	再結晶・粒成長・集合組織	回復・再結晶、集合組織、粒成長、粒界、異相界面、双晶等
		分析・解析・評価	3.7	組織解析・分析	電子顕微鏡、STM、AFM、FIM、3次元アトムプローブ、X線・中性子線回折、EPMA、XPS、イメージング・マッピング技術、放射光、理論・計算機シミュレーション等
			3.8	新領域・その他	
4 分野	4.力学特性	力学特性の基礎	4.1	強度・力学特性	力学(格子欠陥、弾性、塑性、破壊力学、有限要素法、分子動力学、マイクロメカニクス等)、転位の基本的特性(運動、増殖、相互作用等)、転位と各種格子欠陥の相互作用、変形(弾性、擬弾性、塑性、粘性、粒界、変形双晶等)、各種強化機構、破壊機構(き裂やボイド発生・成長・合体等)
			4.2	塑性・疲労・破壊	延性、靱性、静的および動的破壊、破壊靱性値、疲労、応力腐食割れ、水素脆性、遅れ破壊、寿命
			4.3	高温変形・クリープ・超塑性	高温変形、クリープ、クリープ疲労、超塑性
		力学特性と組織	4.4	力学特性評価	力学特性の評価法、力学的挙動の予測(応力-ひずみ曲線、クリープ曲線等の予測、寿命予測等)、合金設計、複合材料(材料システム)設計、データベース
			4.5	欠陥と組織	転位組織、転位セル、変形帯、強加工、双晶、ボイド、亀裂
			4.6	多結晶組織	粒成長、再結晶、双晶、偏析、粒界析出、粒界反応型析出
			4.7	金属間化合物・ハイエントロピー合金	金属間化合物、ハイエントロピー合金、合金規則相、高温変形
			4.8	超微細粒組織	微細粒、バルクナノメタル、強化機構
			4.9	新領域・その他	ブラストン、キンク変形、ディスクリネーション、ミルフィューコ構造
5 分野	5.材料化学	耐食性・耐酸化性	5.1	腐食・防食	水溶液腐食、電気化学測定、表面皮膜、腐食環境解析、孔食、すき間腐食、応力腐食割れ、大気腐食、高温高圧水腐食、水素脆化、異種金属接合腐食、エロージョン・コロージョン、腐食事例、耐食合金、耐食コーティング、腐食抑制・防錆剤、電気防食、等
			5.2	高温酸化・高温腐食	高温ガス腐食、溶融塩腐食、水蒸気酸化、エロージョン・コロージョン、超臨界環境等、耐熱材料、耐熱コーティング、超合金、金属間化合物、セラミックス材料、酸化物の特性
	表面・界面・触媒		5.3	湿式表面処理・湿式めっき	電解・無電解めっき、アノード酸化、エッチング、化成処理、イオン液体、電気化学的な成膜、ぬれ性、摩擦・摩耗・潤滑等
			5.4	気相プロセス・薄膜・厚膜作製技術	PVD、CVD、スパッタリング、プラズマプロセス、イオン注入・イオン打込み、イオンミキシング、コーティング、クラスター制御、表面処理、表面改質等、エッチング、アッシング、リソグラフィ、マイクロ・トライボロジー、マイクロ・マシンニング、マイクロ・ボンディング、ケミカルメカニカルポリッシング(CMP)、溶射、肉盛り、拡散浸漬処理、ぬれ性、摩擦・摩耗・潤滑等
			5.5	表界面反応・分析	表面物性・反応、表面の構造と結晶学、吸着・脱離、表面の熱・統計力学、表面の電子状態およびエネルギー・計算科学、電気化学反応、表面・界面の作製技術、表面分析法(各種化学分析・機器分析、極微量分析、極小領域分析、状態分析、プローブ顕微鏡、顕微分光、環境やプロセスのその場分析、成分画像解析等、各種分析装置の開発、化学センサー、モニタリング法等)、コロイド材料
			5.6	触媒材料・触媒反応	触媒材料(貴金属・卑金属触媒、金属間化合物触媒、ナノ構造触媒、規則性多孔体、有機金属、光触媒等)、触媒反応(酸化、水素製造、C-H活性化、クロスカップリング、界面分子変換、排気ガス浄化等)、触媒技術と反応プロセス開発、触媒理論
			5.7	新領域・その他	

新分野	大分類	中分類	No	セッションキーワード	キーワード
6 分野	6.材料プロセス シング	環境・リサイクルプロセス	6.1 6.2	環境・リサイクル技術 副産物・廃棄物利活用	LCA, リスクマネジメント, 資源経済, 環境・資源政策, 材料の環境信頼性評価, 製造物責任, 事故解析, 材料安全, 環境低負荷材料, 易リサイクル材料, 易リサイクル設計, 易解体設計, マテリアルセクション, 省材料設計, 高寿命材料, 高寿命設計, 分離プロセス, 再資源化プロセス, 材料のリサイクルシステム, 材料資源循環システム, リサイクル化学, クローズドプロセス, 再資源化用途開発など
		熔融・凝固プロセス 高温プロセス	6.3	製・精錬の物理化学	資源・原料, 各種および新製・精錬法, 冶金熱力学, 化学反応工学, 移動速度論, 高温プロセス解析, 数値流体力学, 高純度化, 分離・回収・精製, 環境・リサイクル等
			6.4	融体・高温物性	熱力学的諸量, 融体物性, モデリング等
			6.5	凝固・結晶成長・鑄造技術	結晶成長, 過冷却, 非晶質, 準結晶, 輸送現象, 高純化, 鑄造, 鋳物, ダイキャスト, 単結晶製造技術, 半溶融加工, 溶射, 反応性溶射, 溶射素過程, 等
		固相プロセス 固相・溶接プロセス	6.6	塑性変形・塑性加工技術	塑性加工, 高ひずみ速度加工, 強加工プロセス, 極限環境プロセス等
			6.7	粉末・焼結・造形技術	粉末製造, 超微粉, 粉末成形・粉末冶金(焼結プロセスを含む), メカニカルアロイング, 焼結合成プロセス, 粉末射出成形(金属射出成形, セラミック射出成形), 3次元造形(3Dプリンター), コールドスプレー, スプレーフォーミング, エアロゾルデポジション, アトマイズ, Additive Manufacturing 等
			6.8	接合・溶接・実装・接着・複合技術	メカノケミカルプロセス, 常温接合, 拡散接合, 超音波接合, 摩擦圧接, 摩擦攪拌接合, 爆発圧接, 電磁圧接, 溶接, ろう付け, 接着, 精密接着, メッキ・プロセス, はんだ付け, 実装, マイクロ接合, 力学特性, 信頼性等
		材料評価, プロセス評価 技術	6.9	材料評価技術	非破壊検査, 非破壊定量評価, 残留応力解析, センシング技術, 信頼度評価等, 各種プロセス・シミュレーション, テラヘルツ
			6.10	プロセス評価	プロセス計測・制御技術, エネルギーマネージメント
			6.11	新領域・その他	カーボンニュートラル, 水素プロセス, 超温度場, 超温度場材料創成学, 急速昇温
7 分野	7.生体・医療・ 福祉	生体材料基礎・ 生体応答	7.1	細胞機能・組織再生	細胞機能, 細胞間相互作用, シグナル伝達, 細胞・生体組織評価, 細胞増殖・分化, 組織修復(Tissue Engineering), DDS(Drug Delivery System), ゲノム解析・編集, 細胞適合性, 細胞配向, 代謝回転, 恒常性, 石灰化, 各種臓器, 骨・歯牙, 血管, 骨芽細胞, 破骨細胞, OCY(オステオサイト), 骨系細胞, 細胞外基質, がん, 細胞小器官, RNA, DNA, 遺伝子組み換え, 細胞培養, 骨形態計測法, 染色法, 足場材料, 機能性タンパク質等
			7.2	構造生体機能化	機能発現, バイオメカニクス, 計算科学, 金属組織・組織制御, 弾性・塑性変形機構, 力学機能発現(弾性率, 強度, 延性, 疲労, 破壊), スキャフォールド, インプラント, 双晶変形, 生体組織, 組織配向性, 人工関節, 人工歯根, 熱処理, 多孔化, 機能・組織評価法, Co-Cr 合金, ステンレス鋼, 生体用セラミックス, リン酸カルシウム系材料, PEEK, 整形外科用材料等
			7.3	表界面生体機能化	生体/材料界面, 表面修飾, ナノ表面・界面, 感染防御・制御, 表界面機能, 骨伝導・骨誘導, バイオセンサー, 抗菌性, タンパク質吸着, コーティング, 化学処理, 表面分析・評価, PVD, CVD, コーティング材料等
		生体材料設計 開発・臨床	7.4	生体・医療・福祉材料	バイオマテリアルサイエンス, 生体情報・計測, リハビリテーション医学, ユニバーサルデザイン, バリアフリー, 生体機能代替, 福祉用具・支援機器, ウェアラブル, IoT, AI, 非磁性・低磁性, 低弾性・高弾性, 生体活性ガラス, 生分解性材料, 耐摩耗性材料, 歯科用合金, 生体用ハイエントロピー合金等
			7.5	生体用金属材料	Ti・Ti合金, 低弾性率, 形状記憶, 超弾性, オッセオインテグレーション, 集合組織, 人工骨・関節, 相変態・組織制御, 機能評価法, 電子顕微鏡, β 型Ti合金, レアメタルフリー, 元素戦略, 計算機シミュレーション, Mg 合金等
			7.6	Additive Manufacturing・ テーラード医療材料	付加製造, 3D プリンタ, 金属積層造形, 金属粉末, 異方性/等方性, 形状/組織制御, 力学特性, 残留応力, 生体モデリング, 形状計測, 格子構造, 薬物送達システム, マイクロマシン, マスカスタマイゼーション, テーラード医療, 遠隔地診療, レーザービーム, 電子ビーム, 順シミュレーション・逆問題解析, 溶融池シミュレーション, リアルタイムモニタリング, 4D プリンティング等
			7.7	生体安全性・有効性評価	医用画像・バイオイメージング, 生体シミュレーション, レギュラトリーサイエンス, 生体情報・計測, 医療技術倫理, 細胞毒性, 免疫応答, 疾病, 代謝異常, 骨吸収, 金属アレルギー, 耐食性, 疲労, 疾病治療, 医療機器, 臨床研究, 臨床応用, GLP, 生体吸収性, バイオフィーム, 微生物, 生態系, 分解劣化等
			7.8	新領域・その他	
8 分野	8.構造材料	汎用構造材料	8.1	汎用構造材料	Fe・Fe合金, Ti・Ti合金
		軽量性構造材料	8.2	軽量性構造材料	Ti・Ti合金, Al・Al合金, Mg・Mg合金
		耐食性構造材料	8.3	耐食性構造材料	ステンレス鋼, Ti・Ti合金, Cu・Cu合金, Al・Al合金
		耐熱性材料	8.4	耐熱性材料	ジェットエンジン・ガスタービン耐熱材料
		機能性構造材料	8.5	電子機器用機能性構造材料	Cu・Cu合金, Al・Al合金
			8.6	形状記憶合金・超弾性合金	
			8.7	セラミックス材料	セラミックス材料の原理・原則, 相変態, 構造相転移, 焼結, 組織制御, 機能材料, 強化機構, 破壊, 成型性, 耐熱性, 計算材料科学
		複合・ポーラス材料	8.8	複合材料	複合材料, スポーツ用品材料, 積層造形, 接合, 組織制御, トポロジー最適化, 力学特性, 熱特性, 電磁気特性, 計算材料科学
			8.9	ポーラス材料	ポーラス材料, 積層造形, 接合, 組織制御, トポロジー最適化, 力学特性, 熱特性, 電磁気特性, 計算材料科学
		構造用新素材	8.1	構造用新素材	

→ 次頁へ

新分野	大分類	中分類	No	セッションキーワード	キーワード
9 分野	9.電気・磁気 関連材料	電気・電子・ 光関連材料	9.1	伝導・実装材料	電気伝導材料, 電極材料, 電子実装材料, 配線材料, マイクロ接合材料, フラレーン, カーボンナノチューブ, 熱伝導材料等
			9.2	半導体・誘電体材料	半導体材料, 誘電体材料, 圧電体材料, センサー材料, 太陽電池, High-k 材料, 低次元物質, 2次元材料, ナノ粒子・(超)微粒子, 原子クラスター等
			9.3	光・電磁波関連材料	光学結晶材料, 光記録材料, 液晶材料, 光ファイバー材料, 光学ガラス材料, テラヘルツ, 非破壊検査デバイス等
			9.4	強相関電子系材料	超伝導材料, トポロジカル絶縁体, 強相関電子系材料, マルチフェロイック材料等
		磁性材料	9.5	ソフト・ハード磁性材料	ソフト磁性材料(高透磁率材料(合金系, フェライト系, アモルファス, ナノ結晶等), 永久磁石材料(希土類系, 合金系, フェライト系等), 電波吸収体・ノイズ抑制体材料等
			9.6	スピントロニクス・ナノ 磁性材料	磁気抵抗効果(AMR, GMR, TMR 等)材料, スピンメモリー・センサー材料, スピнкаロリトロニクス材料, スピン注入技術, スピン流制御技術, スピン(軌道)トルク制御技術, 磁気記録・磁気デバイス用材料, 磁性(超)薄膜・多層膜・磁性金属人工格子, 磁気スキルミオン等
			9.7	磁気機能材料	磁歪材料, 磁気冷凍材料, フラストレーション材料, 反強磁性材料, 相転移誘起材料(磁場誘起相変態等)等
			9.8	新領域・その他	
10分野	10.エネルギー 関連材料	原子力材料	10.1	原子力材料	原子炉材料, 核融合炉材料, ビーム関連材料, 炭素鋼, 低合金鋼, ステンレス鋼, ニッケル基合金, ジルコニウム合金, 酸化物分散強化(ODS)合金, ハイエントロピー合金, 溶融塩, 積層造形, 照射, 格子欠陥, 粒界, 拡散, 偏析, 析出, 準安定, 非平衡, 硬化, 脆化, 靱性, 疲労, クリーブ, 高温強度, 腐食, 割れ, 水素同位体特性, 計算材料科学, 画像解析, データベース, など
		熱エネルギー 変換材料	10.2	熱エネルギー変換材料	熱電変換, ゼーベック効果, ベルチェ効果, ネルンスト効果, スピン熱電, 蓄熱, 潜熱, 顕熱, 化学蓄熱, 相変材料(PCM), 熱伝導, 電気伝導, フォノンエンジニアリング, バンドエンジニアリング, ナノ構造制御, 格子欠陥, 界面熱抵抗, 熱マネジメント, など
		水素・電池 関連材料	10.3	電池材料・イオン伝導材料	全固体電池, 電極材料, 電解質材料, イオン伝導材料, 電池設計, 電池関連物性, など
			10.4	水素化合物・水素貯蔵・ 水素透過・水素関連物性	金属水素化合物, 錯体水素化合物, 水素貯蔵, 水素透過, 水素脆化, 水素利用, 水素関連物性, 機能・プロセッシング, 金属-水素相互作用, 同位体効果, など
		新領域・その他	10.5	新領域・その他	センサー材料, 熱伝導材料, など
11分野	11.計算科学・ データ科学・ AI	計算材料科学	11.1	計算材料科学	金属材料, 無機材料, 材料設計, 第1原理電子論計算, 分子シミュレーション, 分子動力学法, モンテカルロ法, CALPHAD 法, フェーズフィールド法, 有限要素法, 境界要素法, セルラーオートマトン, マルチスケール解析, マルチフィジックス解析, プロセスシミュレーション等
		データ科学	11.2	データ科学	マテリアルズインフォマティクス, マテリアルズインテグレーション, データ駆動科学, 逆問題, データ同化, 最適化, データベース, ビッグデータ, ベイズ推定, 統計解析, 多変量解析等
			11.3	AI	機械学習, 深層学習, 強化学習, 転移学習, サロゲートモデリング, LLM 生成 AI, PINN 等
			11.4	新領域・その他	



第50回公益社団法人日本金属学会技術開発賞 「新技術・新製品」記事募集

応募締切：2026年10月30日(金)

[本賞の趣旨]

本会は創意あふれる開発研究を推奨する目的で、金属工業に関する独創性に富む新技術・新製品の技術開発に優れた実績を収めた技術者に対し、本賞を授賞するものである。

(注1)本賞は、当該年の日本金属学会会報「まてりあ」“新技術・新製品”の欄に掲載された記事が、選考対象となる。

技術開発賞募集要綱

1. 賞の名称 第50回公益社団法人日本金属学会技術開発賞 2. 対象となる業績と区分など

- (1) 次の部門およびそれらにまたがるものとする。
 - ①材料基礎技術部門
 - ②素材製造・評価技術部門
 - ③素材応用技術部門
 - ④新素材開発部門
 - ⑤その他
- (2) 評価は次の諸点について行われる。
 - ①独創性のある技術か
 - ②技術、システムあるいは製品に関する有用な発明、考案、改良(有用性)であるか
 - ③技術上の問題解決に役立ち、あるいは新製品の開拓をさらに促す可能性(将来性)があるか
 - ④新技術・新製品の開発に優れた実績があるか
 - ⑤生産実績や適用実績はあるか
- (3) いわゆる「金属」のみでなく、その周辺の材料、たとえば燃料、耐火物、半導体、複合材料などに関するものでもよい。
- (4) 応募の時点で、他の公募制の褒賞(発明協会賞、大河内賞など)を受けていない斬新な主題であることが望ましい。

3. 応募者の条件

- (1) 1件につき10名以内のグループまたは個人
直接開発に関与した技術者であって、単なる職制上の管理者や代表者を含まないことが望ましい。

4. 選考

- (1) 受賞者の選考は選考委員会で行う。選考委員は本会理事会が毎年選任し、会長が委嘱する。
- (2) 理事会が授賞該当無しと認めた場合は、その年度は授賞しない。
- (3) 選考に当たって、特許係争等が問題となった記事は授賞対象から除外する事がある。

5. 授賞

- (1) 2027年6月末日までに受賞者を内定する。
- (2) 2027年秋期講演大会において授賞する。
- (3) 受賞者には賞状と副賞(楯)を贈呈する。受賞者が非会員の場合には、会員資格を与える。

6. 技術開発賞受賞記念講演

技術開発賞受賞をより意義深いものとするため、受賞記念講演をお願いする。

第50回の受賞記念講演は2027年秋期講演大会(9月予定)の折りに行う。

7. 受賞決定までの流れ

応募(10月30日締切)→まてりあ掲載(66巻(2027年)1号から)→選考・受賞決定(2027年6月)→授賞(2027年9月)

まてりあ「新技術・新製品」記事への応募の方法

1. 応募・原稿締切

- (1) 2026年10月30日(金)
- (2) 申し込み受理順を参考に会報「まてりあ」に第1号から第3号まで(予定)掲載する。

2. 応募記事は編集委員会の査読を経て、日本金属学会会報「まてりあ」に掲載する。

掲載記事が技術開発賞の選考対象となる。

掲載が決まった場合には、刷り上がり1ページ当たり30,800円の投稿料を納入すること。

ただし、掲載号1冊、掲載記事のPDFファイルを無料とする。

3. 応募記事の記述の留意事項

- (1) 社名、商品名その他、商業用呼称を用いることは差し支えないが、その内容が一般に理解できるよう説明を付すこと。
- (2) know-howに属する事項を記述する必要はないが、新技術・新製品の特色などが理解できるようなデータを含めること。
- (3) 現在までの実績、経済性、特許関係など「技術開発賞」選考に参考となる項目をなるべく含めること。
- (4) 特許関係等についての記述は十分に注意すること。

4. 原稿作成について

- (1) 原稿は本文、図(写真)および表を含めて刷り上がり3頁以内(約6,700字)とする。
- (2) 原稿は図・表の説明を含めて全て日本語とする。物理量の単位はなるべくSI単位系による。
- (3) 原稿はレイアウトの体裁にあわせて作成する。
- (4) 応募は、下記Webサイトから申込む。

URL <https://data.jimm.jp/jim/shou/gikai/sui/>
ホームページから直接入力→原稿をZip形式ファイルでアップロード→受理mailの発行→受付完了。

原稿ファイルの提出；本文、図表、レイアウトを別個に作成し、Zip形式(ファイルサイズ上限は50MB)でまとめる。

①「レイアウト用紙」(Webサイトにてダウンロード可能)

②図(写真)・表

- ・図と写真は区別せず図1、図2…のように、表は、表1、表2…のようにそれぞれ通し番号とする。
- ・写真にはスケールを入れる。
- ・それぞれキャプションを付すること。
(記述は横軸・縦軸・説明も含めすべて日本語とする。)
- ・カラー原稿にはカラー印刷の有無を必ず明記する。
- ・カラー印刷は刷り1頁あたり38,500円を著者が負担する。

5. 掲載された記事の著作権を本会に委譲すること。

6. まてりあ一般記事の要領に従うこと。(まてりあ掲載「新技術・新製品」記事を参考にすること)

7. 提出資料

- ①レイアウトされた原稿 ②本文テキスト ③図表原稿
④①～③のデータファイル(Zip形式でアップロードする。)

8. 申込・送付先

(公社)日本金属学会各賞係

☎ 022-223-3685 E-mail: award@jimm.jp

9. 「新技術・新製品」記事の問合先

まてりあ係 E-mail: materia@jimm.jp

(予告)

日本金属学会オンライン教育講座「基礎シリーズ」新規開講のご案内

現在、日本金属学会では、会員サービスの向上と若手研究者・学生の教育支援を目的として、オンライン教育講座を開講しております。このたび、その新たなシリーズとして、オンライン教育講座「基礎シリーズ」を開講いたします。本講座は、新しく社会人になり材料分野に携わる方をはじめ、材料分野の基礎を学ぶ機会が少なかった方や、改めて基礎を学び直したい方など、幅広い方々におすすめの内容です。材料関連分野で必須となる基礎知識を、本会のフェローをはじめとする実績豊富な講師陣が体系的に解説します。スキルアップや社内研修、研究室での教育など、さまざまな場面でぜひご活用下さい。

【基礎シリーズの特長】

- 受講期間：視聴登録から3か月間(期間中は何度でも繰り返し視聴可能)
- 修了証書：講義後の演習問題で所定の基準を満たした受講者に発行いたします。

【基礎シリーズ講座一覧】

◆2027年1月開講予定

「構造材料組織学」	講師：津崎 兼彰(九州大学 名誉教授)
「結晶学」	講師：松原 英一郎(京都大学 名誉教授)
	講師：土谷 浩一(物質・材料研究機構 名誉研究員)
「材料強度学」	講師：東田 賢二(九州大学 名誉教授)

◆2027年6月開講予定

「熱力学の基礎」	講師：吉川 健(大阪大学 教授)
「材料の熱力学」	講師：梶原 正憲(東京工業大学(現 東京科学大学) 名誉教授)

講義概要や申込方法などの詳細は、次号の会報「まてりあ」10号にてご案内いたします。
皆様のお申込みを心よりお待ちしております。

金属学会講習会※：現地開催

※金属学会講習会が新しく始まります！！

◎金属学会講習会は、金属学に関連する各種の実践的ノウハウを学び、教育・研究に関するスキルアップを目的とする活動の一環です。2026年度より始動いたします。ぜひご活用下さい。

～電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用： 電池から腐食まで～

日 時 2026年10月8日(木)10:00～17:00

場 所 大阪大学吹田キャンパス 材料開発・物性記念館2階研修室(〒565-0871 吹田市山田丘2-1)

カリキュラム

10月8日(木)10:00～17:00

10:00～12:00 座学：電気化学インピーダンス法の基礎（講師：星 芳直(名工大)）

—昼食・休憩—

13:30～14:30 座学・デモ：電気化学インピーダンス測定におけるノイズ対策（講師：樋口 望(東陽テクニカ)）

14:30～15:30 計測デモ①：腐食（講師：大井 梓(東京科学大)）

—休憩—

15:45～16:45 計測デモ②：電池（講師：横島 時彦(名大)）

16:45～17:00 質疑応答

申込締切 2026年9月29日(火)

詳 細 <https://jimm.jp/event/symposium/>

まてりあ8号605頁

New!!

『構造材料の観察・分析技術(1)：バルク組成分析』

日 時 1 日目 2026年11月12日(木)13：30～16：45, 2 日目 11月13日(金)13：30～16：45

講義概要

構造材料の性能発現機構を理解するためには、微視的・ナノスケールでの組織および元素分布の精密な評価が不可欠です。本講座では、「EPMA による微小領域の元素分析」、「TEM による微細組織観察」、「FIB-SEM/TEM/APT を組み合わせたマルチスケール組織解析」、さらに「X 線・中性子回折および小角散乱法による組織・構造解析」について解説します。各手法の原理と特徴、適用事例を通じて、高度な分析技術の理解と実践的活用力の向上に役立ちます。

本講座では、当日に受講できない方や理解を深めたい受講者の方のために、講義の見逃し配信を行います(講座開催4週間後から1ヶ月間を目安に配信予定)。受講申込み者は追加料金なしに受講できます。

カリキュラム

2026年11月12日(木) 13：30～16：45

13：30～15：00 EPMA による微小領域の元素分析(講師：塚本 一徳)

15：00～15：15 —休憩—

15：15～16：45 TEM による微細組織観察(講師：杉山 昌章)

2026年11月13日(金) 13：30～16：45

13：30～15：00 FIB-SEM/TEM/APT を組み合わせたマルチスケール組織解析(講師：大久保 忠勝)

15：00～15：15 —休憩—

15：15～16：45 X 線・中性子回折および小角散乱法による組織・構造解析(講師：大沼 正人)

講師紹介(略歴)

日本電子株式会社・副主査 塚本 一徳

2001年3月 筑波大学第三学群基礎工学類卒業, 2002年4月～2003年3月 理化学研究所 技術研修生, 2003年3月 筑波大学理工学研究科修士課程修了, 2003年4月～ 日本電子株式会社にて, EPMA および軟 X 線分光技術, 材料組織解析, 電子顕微鏡, FE 電子銃, レーザーの研究開発に従事, 現在に至る。2007年 日本表面科学会 技術賞受賞, 2026年 TMS EPD Materials Characterization Best Poster Award 受賞。

大阪大学超高压電子顕微鏡センター・招へい教授 杉山 昌章

1980年3月 大阪大学基礎工学部物性物理工学科 卒業, 1985年3月 大阪大学大学院基礎工学研究科物理系物性学後期課程修了(工学博士), 1985年4月～2015年3月 新日本製鐵株式会社, 2007年4月～2009年3月 日本金属学会第5分科委員長, 2015年4月～2018年3月 大阪大学新日鉄住金マルテンスサイト基礎科学共同研究講座特任教授, 2018年4月～2023年3月 大阪大学日本製鐵材料基礎協働研究所特任教授(所長), 2023年3月 同退職, 2022年4月～ 金沢大学連携講座特任教授, 2023年4月～ 大阪大学超高压電子顕微鏡センター招へい教授, 2025年4月～ 大阪大学日本製鐵材料基礎協働研究所特任研究員(非常勤), 現在に至る。

物質・材料研究機構 磁性・スピントロニクス材料研究センター・副センター長 大久保 忠勝

1987年3月 長岡技術科学大学工学部創造設計工学課程卒業, 1989年3月 長岡技術科学大学大学院工学研究科修士課程修了, 1992年7月～1994年3月 長岡技術科学大学機械系助手, 1994年4月～2002年3月 大阪大学産業科学研究所助手, 2002年4月 物質・材料研究機構材料研究所主任研究員, 2006年4月 物質・材料研究機構磁性材料センターグループリーダー, 2021年4月 物質・材料研究機構磁性・スピントロニクス材料研究拠点副拠点長, 2022年11月～ データ創出・活用型磁性材料研究拠点代表研究者 兼務, 2023年4月 物質・材料研究機構磁性・スピントロニクス材料研究センター副センター長, 現在に至る。

北海道大学工学研究院・教授 大沼 正人

1989年3月 室蘭工業大学金属工学科 卒業, 1994年3月 室蘭工業大学大学院博士後期課程物質工学専攻修了(博士(工学)), 1994年4月～2001年3月 科学技術庁金属材料技術研究所, 2001年4月～2013年3月 独立行政法人 物質・材料研究機構, 2013年4月～ 北海道大学大学院工学研究院応用量子科学部門 教授 この間デンマーク Risø 国立研究所客員

研究員(1997年3月-1998年2月), 東北大学学際センター 客員教授(2009年1月-2009年12月および2014年4月-2015年3月), ワルシャワ工科大学 客員教授(2011年7月-2013年3月), 京都大学元素戦略構造材料拠点教授(2012年4月-2022年3月), 東北大学農学部客員教授(2023年10月-現在), 現在に至る。

コーディネーター 東京科学大学・准教授 小林 寛

受講方法 オンライン

受講方法および資料のダウンロードの方法は受講申込みにメールでご案内します。

申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい。

①今年度*初めての受講(2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0042>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0043>

受講料

対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
正 員	20,000円	15,000円
学 生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員, 協賛学協会会員は正員扱い.
○学生は会員, 非会員の区別なし.

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合, 2講座目からは割引料金(25%割引)となります。

本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合, 受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)。ただし, 複数受講との重複割引はありません。

申込期間 2026年9月1日(火)~11月5日(木)

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。

問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 FAX 022-223-6312

協賛予定

エネルギー資源学会, 応用物理学会, 金属系材料研究開発センター, 軽金属学会, 軽金属製品協会, 合金状態図研究会, 資源・素材学会, ステンレス協会, 素形材センター, 電気化学会, 電気学会, 日本アルミニウム協会, 日本 MRS, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本磁気学会, 日本セラミックス協会, 日本塑性加工学会, 日本チタン協会, 日本鋳造工学会, 日本鉄鋼協会, 日本物理学会, 日本分析化学会, 粉体粉末冶金協会, 腐食防食学会, 表面技術協会, 日本チタン学会, 日本バイオマテリアル学会

New!!

『医療用金属材料の基礎 2』

日 時 1 日目 2026年12月3日(木)13:30~16:45, 2 日目 12月4日(金)13:30~16:45

講義概要

医療における診断と治療には多くの材料が使用されており, 特に金属材料の進歩は医療技術の発展と密接な関係があります。本講座では, 医療用金属材料の特色や歴史にはじまり, 医療分野において要求される諸特性やその評価方法について紹介した「医療用金属材料の基礎」を踏襲する形での開催として, 医療用金属材料として代表的なチタン・チタン合金の基礎と医療材料への応用について, 生体内分解特性を示すマグネシウム合金の基礎と医療機器応用への展望について, および医療器械として実用化する際の課題について理解を深めることを目的とします。

本講座では, 当日に受講できない方や理解を深めたい受講者の方のために, 講義の見逃し配信を行います(講座開催4週間後から1ヶ月間を目安に配信予定)。受講申込者は追加料金なしで受講できます。

カリキュラム

2026年12月3日(木) 13:30~16:45

13:30~15:00 チタンとその合金の基礎(講師:池田 勝彦)

15:00～15:15 —休憩—

15:15～16:45 チタン系バイオマテリアルの基礎と生体適合性(講師:池田 勝彦)

2026年12月4日(金) 13:30～16:45

13:30～15:00 マグネシウム合金の基礎(講師:向井 敏司)

15:00～15:15 —休憩—

15:15～16:45 医療機器応用に向けたマグネシウム合金の可能性(講師:向井 敏司)

講師紹介(略歴)

株式会社日本スペリア社 R&D センター・常任顧問, 関西大学・名誉教授 池田 勝彦

1981年 関西大学大学院工学研究科金属工学博士課程修士課程修了, 1981年 大阪ヒューズ株式会社入社, 1986年 関西大学工学部助手, 1991年 工学博士(関西大学), 1995年～1996年 インペリアルカレッジ アカデミック・ビジター, 2002年 関西大学工学部教授, 2007年 関西大学化学生命工学部教授, 2016年～2018年 関西大学化学生命工学部部長, 2022年 株式会社日本スペリア社入社, 2022年～現在 関西大学名誉教授, 2022年～現在 日本チタン学会副会長.

神戸大学未来医工学研究開発センター/医学研究科医療創成工学専攻・教授 向井 敏司

1990年 大阪府立大学大学院工学研究科機械工学専攻博士課程前期課程修了, 1993年 同 後期課程修了, 1993～1994年 大阪府立大学工学部助手, 1994～2003年 大阪市立工業研究所研究員, 2003～2004年 東京大学先端科学技術研究センター客員助教授, 2004～2011年 物質・材料研究機構 主幹研究員/主席研究員/グループリーダー, 2011年～現在 神戸大学大学院工学研究科教授, 2023年～現在 同 大学院医学研究科教授, 2025年～現在 同 未来医工学研究開発センター 教授/センター長, 2025年～現在 同 副学長(研究・社会共創・イノベーション担当).

コーディネーター 国立研究開発法人物質・材料研究機構・グループリーダー 堤 祐介

受講方法 オンライン

受講方法および資料のダウンロードの方法は受講申込みにメールでご案内します.

申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい.

①今年度*初めての受講(2026年3月1日以降)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0044>

②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)

<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0045>

受講料

対象者	1講座基本料金	2講座目以降割引料金※
正員	20,000円	15,000円
学生	8,000円	6,000円
非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員, 協賛学協会会員は正員扱い.

○学生は会員, 非会員の区別なし.

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合, 2講座目からは割引料金(25%割引)となります.

本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合, 受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい). ただし, 複数受講との重複割引はありません.

申込期間 **2026年9月1日(火)～11月26日(木)**

受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい.

問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係

〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32

E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

協賛予定

応用物理学会, 金属系材料研究開発センター, 軽金属学会, 軽金属製品協会, 合金状態図研究会, 資源・素材学会, ステンレス協会, 素形材センター, 電気化学会, 電気学会, 日本MRS, 日本化学会, 日本機械学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本磁気学会, 日本塑性加工学会, 日本チタン協会, 日本鋳造工学会, 日本鉄鋼協会, 日本物理学会, 日本分析化学会, 粉体粉末冶金協会, 腐食防食学会, 表面技術協会, 日本チタン学会, 日本バイオマテリアル学会

『材料組織弾性学の基礎と応用』

申込締切：2026年9月14日(月)

日 時 1日目 2026年9月28日(月)13:30~16:50, 2日目 9月29日(火)13:30~16:50

カリキュラム

2026年9月28日(月) 13:30~16:50

13:30-15:00 マイクロメカニックスの基礎

15:00-15:20 一休憩

15:20-16:50 フェーズフィールド微視的弾性論

2026年9月29日(火) 13:30~16:50

13:30-15:00 セカント法の基礎と応用(様々な特性計算への横展開)

15:00-15:20 一休憩

15:20-16:50 AI エージェントを援用した近未来の材料工学

講師紹介

物質・材料研究機構 構造材料研究センター・特命研究員 小山 敏幸

申込締切 2026年9月14日(月)

詳細 <https://jimm.jp/event/online/>

まてりあ 8号606頁



オンデマンド配信 (日本金属学会オンライン教育講座) 開催案内

New!!

『耐熱材料』

配信：2026年11月2日(月)~11月30日(月)

講義概要

耐熱材料は、その耐熱性向上・長寿命化に向けた長年の研究開発により、火力発電タービン・航空機エンジン等の熱機関や化学石油プラント等の反応装置の効率向上にこれまで貢献してきました。同材料は今後も、熱機関や反応装置の効率向上はもとより、高温ガス炉による水素製造、ゼロエミッション火力発電や水素還元製鉄等の脱炭素化の鍵を握る技術において重要な役割を担います。本講座では、耐熱材料を扱う初心者から経験者までの皆様方を対象に、「耐熱材料の高温変形・破壊挙動とその遷移」、「ガスタービン用 Ni 基耐熱合金の製造プロセスと高温強度」、「脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計 1 —航空機用 TiAl 基合金—」、「脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計 2 —発電用合金—」に関する解説を行います。

本講座は2024年11月に開催された当該講座の録画をオンデマンドで視聴いただきます。

配信期間中は好きな時間に何度でもご聴講いただけます。

カリキュラム

1時限目 耐熱材料の高温変形・破壊機構とその遷移(講師：丸山 公一)

2時限目 ガスタービン用 Ni 基耐熱合金の製造プロセスと高温強度(講師：笥 幸次)

3時限目 脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計 1 —航空機用 TiAl 基合金—(講師：竹山 雅夫)

4時限目 脱炭素化社会に資する耐熱材料の組織設計 2 —発電用合金—(講師：竹山 雅夫)

*トータル約6時間の講義になります。

講師紹介

東北大学・名誉教授 丸山 公一

1971年3月 東北大学工学部 金属材料工学科 卒業；1976年3月 東北大学大学院 工学研究科 博士課程修了；1976年4

月～2013年3月 東北大学 工学部 工学研究科 環境科学研究科で教育・研究に従事；2013年3月 同退職(東北大学名誉教授)，現在に至る；「高温強度の材料科学」(内田老鶴圃)などを執筆。

東京都立大学・教授 筧 幸次

1986年3月 名古屋大学大学院 工学研究科 金属工学及び鉄鋼工学専攻 博士課程前期修了；1986年4月～2002年9月 東京都立大学 工学部 機械工学科助手；1999年12月 名古屋大学大学院 博士(工学)取得；2001年8月～2002年2月 文部科学省在外研究員(英国ケンブリッジ大学 材料科学および冶金学科)；2002年10月～2006年3月 東京都立科学技術大学 大学院工学研究科 システム基礎工学専攻 助教授；2006年4月～2017年3月 首都大学東京 大学院 理工学研究科 機械工学専攻 准教授(改組による)；2017年4月 東京都立大学大学院 システムデザイン研究科 機械システム工学域 教授，現在に至る。

東京科学大学・名誉教授 竹山 雅夫

1986年 東京工業大学にて工学博士を取得；1986年～1989年 米国オークリッジ国立研究所；1989年～1993年 科学技術庁 金属材料技術研究所 研究員；1993年4月 東京工業大学 助教授に着任；2011年～ 同大学 教授；2023年3月 定年；同年4月～ 同大学(現 東京科学大学)および大阪大学 特任教授；専門：金属組織学，金属強度学。

コーディネーター 東京科学大学・准教授 小林 寛
JFE テクノリサーチ(株)取締役，西日本ソリューション本部長 船川 義正

視聴期間 **2026年11月2日(月)～11月30日(月)**
視聴方法 オンデマンド配信システム UIshare から視聴いただきます。
資料は同システムのウェブサイトからダウンロードいただけます。
視聴方法および資料のダウンロードの方法は受講申込みにメールでご案内します。
申込方法 下記のサイトよりお申込み下さい。

- ①今年度*初めての受講(2026年3月1日以降)
<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0040>
- ②今年度2講座目以降の受講(前回受講の講座名と参加登録番号の入力が必要)
<https://event.atlas.jp/ja/jimm/S0041>

受講料	対象者	1 講座基本料金	2 講座目以降割引料金※
	正 員	20,000円	15,000円
	学 生	8,000円	6,000円
	非会員	40,000円	30,000円

○本会維持員会社社員，協賛学協会会員は正員扱い。
○学生は会員，非会員の区別なし。

※本年度開催のオンライン教育講座またはオンデマンド配信を2講座以上受講する場合，2講座目からは割引料金(25%割引)となります。
本会の維持員社員が同一講座に3名以上でお申込みの場合，受講料が正員価格より25%割引となります(お申込み前にご相談下さい)。ただし，複数受講との重複割引はありません。

申込期間 **2026年9月1日(火)～11月9日(月)**
受講料支払方法 ①カード決済 ②銀行振込のどちらかをご利用下さい。
問合せ先 (公社)日本金属学会 セミナー・シンポジウム係
〒980-8544 仙台市青葉区一番町 1-14-32
E-mail: meeting@jimm.jp ☎ 022-223-3685 ☎ 022-223-6312

協賛予定
エネルギー資源学会，応用物理学会，金属系材料研究開発センター，軽金属学会，軽金属製品協会，合金状態図研究会，資源・素材学会，ステンレス協会，素形材センター，電気化学会，電気学会，日本アルミニウム協会，日本 MRS，日本化学会，日本ガスタービン学会，日本機械学会，日本材料科学会，日本材料学会，日本磁気学会，日本セラミックス協会，日本塑性加工学会，日本チタン協会，日本鋳造工学会，日本鉄鋼協会，日本物理学会，日本分析化学会，粉体粉末冶金協会，腐食防食学会，表面技術協会，日本チタン学会，日本バイオマテリアル学会



『凝固の科学』

配信：2026年10月1日(木)～10月30日(金)

カリキュラム

- 1 時限目 凝固の基礎(講師：安田 秀幸)
- 2 時限目 組織選択 (講師：安田 秀幸)
- 3 時限目 鋳造欠陥 (講師：安田 秀幸)
- 4 時限目 急冷凝固 (講師：安田 秀幸)
- 5 時限目 レーザープロセスにおける凝固現象(講師：森下 浩平)

※トータル約6時間半の講義になります。

講師紹介

京都大学・教授 安田 秀幸
九州大学・教授 森下 浩平

申込締切 2026年10月8日(木)

詳細 <https://jimm.jp/event/online/>
まてりあ 8号607頁



『めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ』

配信：2026年9月1日(火)～9月30日(水)

カリキュラム

- 1 時限目 めっきの基礎(講師：平藤 哲司)
- 2 時限目 めっきにおける各種添加剤の役割(講師：赤星 晴夫)
- 3 時限目 めっき法によるナノ結晶合金の作製(講師：瀧川 順庸)
- 4 時限目 濃厚電解質溶液を利用しためっき(講師：邑瀬 邦明)
- 5 時限目 めっき膜中の水素の挙動解析(講師：福室 直樹)

*トータル約6時間の講義になります。

講師紹介

京都大学・名誉教授 平藤 哲司
関東学院大学・客員教授 赤星 晴夫
大阪公立大学・教授 瀧川 順庸
京都大学・教授 邑瀬 邦明
兵庫県立大学・准教授 福室 直樹

申込締切 2026年9月8日(火)

詳細 <https://jimm.jp/event/online/>
まてりあ 7号554頁

金属学会シンポジウム開催報告

状態図は未踏領域へ進む

開催日 2026年7月9-10日

場 所 物質・材料研究機構 千現地区
先進構造棟

状態図・熱力学は材料学に必要な基盤分野であり、その中心となる CALPHAD 法が提案されてから約60年が経過した。そして、近年では理論計算手法やデータ科学手法、ハイスループット (HTP) 実験・多元多相系の平衡実験などの進展が目覚ましく、CALPHAD は次の段階へと進み始めている。本シンポジウムは、状態図・計算熱力学研究会 (No. 85) の5年間の活動の総括として企画され、状態図研究の歴史と現状を俯瞰するとともに、討論を通して「これから100年先の状態図・熱力学研究」を展望することを目的として開催された (2026年7月9日~10日、ハイブリッド開催、オンサイト参加者27名、オンライン参加者56名の合計83名が参加)。以下に各講演の概略を示す。

阿部太一 (NIMS) は、「これからの状態図研究」と題して、これまでの状態図研究の経緯や現状を俯瞰した後、大規模言語モデル (LLM) の予測も交えながら、将来の状態図研究がどのように進展してゆくのか、その可能性についての提案を行った。

小山敏幸 (NIMS) は、「AI エージェントと材料設計」と題して、生成 AI や外部ツールを自律的に利用する AI エージェントの最新動向を紹介し、自然言語の指示で複雑な熱力学計算ツールを自動実行させるなど、今後の材料研究のスタイルを劇的に変化させる現在・未来について詳述した。

池田亜矢子 (NIMS) は、「ハイスループット手法による特性および状態図ビッグデータ取得」と題して、拡散マルチプルや温度傾斜試料を用いて、一つの試料から一度に数千のデータを取得することで多元系状態図構築を飛躍的に効率化する試みについて報告した。

林 幸 (東京科学大) は、「平衡実験による多成分カルシウムフェライトの状態図作成—高炉原料の状態図—」と題して、製鉄プロセスの高品質焼結鉄製造に向け、大気中・1240℃での平衡実験により SFCA 系化合物 (SFCA, SFCA-I, SFCA-II) を区別した精緻な多元多相状態図の構築について講演した。

大谷博司 (東北大) は、「第一原理計算に基づく理論状態図の作成とその応用」と題して、密度汎関数法などの理論計算手法のみから状態図求める「理論状態図」の構築手法とその展望について講演を行った。

榎木勝徳 (島根大) は、「第一原理計算に基づく準安定状態の予測」と題して、Fe-C 系などの固溶体内部で生じる規則化や二相分離といった準安定状態をクラスター展開法等により予測し、実用材料の組織形成解析を念頭に「準安定状態図データベース」を構築する必要性を示した。

Wenhao Zhang (NIMS) は、「MLP for CALPHAD: benchmarking and application」と題して、汎用機械学習ポテンシャル (UMLIPs) を状態図計算に適用するとともに、グラントポテンシャルを用いたパラメーターの最適化アルゴリズムを提案し、少数の実験データを加えて最適化することで、高精度に状態図を再現するパラメーターセットを得ることが可能であることを示した。

Arkapol Saengdeejing (NIMS) は、「Thermodynamic database development using ML data」と題して、計算負荷の高い第一原理計算の代わりに機械学習ポテンシャル (MLIP) を用いて熱力学データベースを構築する手法を紹介し、新材料におけるデータベース開発の大幅な加速が可能であることを示した。

本シンポジウムは、産業界と学界双方の関心を引くプログラム構成となり、それは産業界からの参加者割合の高さ (産43%, 学57%) にも表れている。各セッションでは約15分の質疑応答の時間が設けられ、オンサイトで参加した学生から積極的な質問が相次ぐなど、次世代を担う若い研究者たちの関心の高さがうかがえる活発な議論の場となった。結果として、今後の当該分野の発展を促す有意義な会となった。

最後に、本シンポジウムに協賛いただいた一般社団法人合金状態図研究会、日本熱測定学会に深く感謝申し上げる。

(文責: 阿部)

(企画世話人: NIMS 阿部太一, 九工大 徳永辰也, NIMS 井誠一郎)



集合写真.

〈公募類記事・集会・セミナー・講習会・募集・お知らせ・助成〉
 分量：1/4頁(700～800文字)程度。
 1.「まてりあ」とホームページに掲載：16,500円
 2. ホームページのみ掲載：11,000円
 3. DM(ダイレクトメール)発信のみ：11,000円
 4. 1.2にDM発信を追加する場合：5,500円
 (公募求人追加は不可)
 〈新刊案内〉会員による出版案内(書誌情報の掲載：無料)
 原稿締切・掲載号：毎月1日締切で翌月号1回掲載。
 原稿提出先：E-mail: materia@jimmm.jp
 提出方法：電子メール(受け取りメールの確認をして下さい)。

公 募

◇核融合科学研究所 研究教育職員公募◇

公募人員

- (1)核融合科学を学際的に発展させる教授，准教授又は助教
若干名
- (2)核融合科学を学際的に発展させる教授，准教授又は助教
(女性限定) 1名程度
- (3)装置工学・教授 1名
- (4)プラズマ加熱理工学・教授 1名
- (5)プラズマ量子プロセスユニット准教授又は助教 1名
- (6)超高流束協奏材料ユニット准教授又は助教 1名

所 属 研究部

研究・業務内容 詳細は各人事公募を確認すること。

希望事項 詳細は各人事公募を確認すること。

応募締切 2026年9月30日(水)17時(エントリー期限)

就任時期 詳細は各人事公募を確認すること。

提出書類 詳細は各人事公募を確認すること。

- (1)履歴書 (2)これまでの研究内容
- (3)就任後の抱負 (4)研究業績発表論文リスト
- (5)論文別刷
- (6)添付する論文別刷の概要と本人の貢献を記載した文書
- (7)推薦書

提出先 詳細は各人事公募を確認すること。

問 合 先 核融合科学研究所管理部総務企画課人事係

☎ 0572-58-2013 E-mail: nifs-jinji@nifs.ac.jp

* 詳細については本研究所に掲載した各人事公募をご覧ください。

URL <https://www.nifs.ac.jp/jinji/index.html>

集 会

◇レアメタル研究会◇

- 主 催 レアメタル研究会
- 主 宰 者 東京大学生産技術研究所 教授 岡部 徹
- 協 力 (一財)生産技術研究奨励会(特別研究会 RC-40)
- 共 催 東京大学マテリアル工学セミナー
 レアメタルの環境調和型リサイクル技術の開発研究会
 東京大学生産技術研究所 持続型材料エネルギーイン
 テグレーション研究センター
 東京大学生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付
 研究部門(JX 金属寄付ユニット)
- 協 賛 (公社)日本金属学会 他
- 開催会場 東京大学生産技術研究所
 An 棟 2F コンベンションホール 他
 〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1
 (最寄り駅：駒場東大前，東北沢，代々木上原)
- 参加登録・問い合わせ 岡部研究室 宮崎智子
 参加登録 E-mail: okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp
 問い合わせ E-mail: tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp

令和8年度 レアメタル研究会のご案内

(2026.7.10現在)

- 第122回 2026年9月11日(金)14:00～
 東京大学・本郷・山上会館
 リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ
 ッド研究会
 テーマ：若手研究者が金属プロセス工学の未来を熱く語る
 午後2:00～ 講演【敬称略】
 ★プログラムの順番等は変更する可能性があります★
 ・素材プロセス研究に込める夢と挑戦(仮)(50分)
 東北大学 多元物質科学研究所 助教 上村 源
 ・鉄鋼・アルミニウムを通して学んだ材料プロセス研究
 ―これまでとこれから―(仮)(50分)
 富山大学 都市デザイン学部材料デザイン工学科 講師
 加藤謙吾
 ・Foundry(ファンドリー)研究の過去，現在，未来(60分)
 東京大学 生産技術研究所 講師 鳴海大翔
 午後6:00～研究交流会・意見交換会
 @東京大学・本郷・山上会館 談話ホール(1F)

- 東京大学 生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究
 部門(JX 金属寄付ユニット)主催
 半導体の未来に関するシンポジウム
 2026年9月25日(金)14:00～
 An 棟 2F コンベンションホール
 リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリ
 ッド研究会
 テーマ：半導体の未来
 午後2:00～
 ・先端半導体技術の動向：過去，現在と将来展望(60分)

東京大学大学院工学研究科附属システムデザイン研究センター(d.lab)上席研究員, 東京大学名誉教授

平本俊郎

- 半導体用, 超高純度レアメタルについて(仮)(30分)
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹
- 半導体用ターゲット材の開発について(仮)(60分)
JX 金属株式会社 執行役員, 先端材料事業本部薄膜材料事業部長(兼)先端材料事業本部データインフラ材料事業推進部長, 技術本部審議役 岡部 岳夫
- 半導体素子微細化と, AI 時代にも延命し続ける銅配線技術(60分)
筑波大学 物理学科 客員教授, 株式会社トクヤマ 技術研究本部 フェロー 野上 毅

午後 6 : 00 ~ 研究交流会・意見交換会

@An 棟 1F レストラン・アーベ(要参加登録)

■第123回 2026年11月6日(金)14:00~

An 棟 2F コンベンションホール

★チタンシンポジウム(第10回)★(合同開催)

リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリッド研究会

テーマ: チタンの現状と未来

午後 2 : 00 ~ 講演【敬称略】

★プログラムの順番等は変更する可能性があります★

- 東邦チタニウムと JX 金属(旧・日本鉱業)(40分)
東邦チタニウム株式会社 副社長執行役員 百野 修
- 航空機用チタン合金の鍛造技術の現状と将来展望(仮)(40分)
株式会社神戸製鋼所 チタンユニット チタン工場 技術部 部長 百田悠介
- チタンの軽元素メタラジー(40分)
東北大学大学院 工学研究科 材料システム工学専攻 教授 成島尚之
- チタン研究の最近の進歩(仮)(40分)
東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹
- クロール法における生産性向上と品質の追求(仮)(40分)
株式会社大阪チタニウムテクノロジー 技術部長 兼 DX 推進部長 山本慎也

午後 6 : 00 ~ 研究交流会・意見交換会

@An 棟 2F ホワイエ+チタンシンポ, 第10回開催記念祝賀会

■第124回 2027年1月8日(金)14:00~

An 棟 2F コンベンションホール

【オンライン配信(Zoom Webinar, YouTube など)は行わない予定です】

★貴金属シンポジウム(第14回)+新年会★(合同開催)

テーマ: 貴金属の精錬・リサイクル

午後 2 : 00 ~ 企画中

午後 6 : 00 ~ 研究交流会・意見交換会

@An 棟 2F ホワイエ+貴金属シンポ, 新年会

■第125回 2027年3月12日(金)14:00~

東京大学・本郷・伊藤国際学術研究センター

伊藤謝恩ホール

リアル講演会+講演のネット配信(Zoom Webinar & YouTube)のハイブリッド研究会

テーマ: 朱鴻民教授が熱く語る特別シンポジウム+慰労会

★(合同開催)

午後 2 : 00 ~ 講演【敬称略】

★プログラムの順番等は変更する可能性があります★

- Electrochemical refining for high-purity titanium(仮)(30分)

北京科技大学(University of Science and Technology Beijing)教授 Prof. Jiao Shuqiang 焦树强

- 巨人の肩に乗る(仮)(30分)

北京科技大学(University of Science and Technology Beijing)教授 Prof. Lu Xin 卢 鑫

- 朱鴻民先生のもとで学び(仮)(30分)

東北大学大学院工学研究科 教授 竹田 修

- 朱先生との思い出(仮)(20分)

東京大学 生産技術研究所 教授 岡部 徹

- 溶融塩とレアメタル(仮)(60分)

東北大学大学院 工学研究科 教授 朱 鴻民

午後 6 : 00 ~ 研究交流会・意見交換会

@伊藤国際学術研究センター ホワイエ+朱教授ご退職お祝いの会

レアメタル研究会ホームページ

https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/japanese/rc40_j.html

◇ ◇ ◇

◇ 掲示板はホームページにも掲載しております. ◇
https://jimm.jp/information/bulletin_boad/

◇ ◇ ◇

日本金属学会誌掲載論文

Vol. 90, No. 9 (2026)

——論文——

高圧ねじり加工した過剰Fe・Si含有Al-Mg-Si合金の強度と延性に及ぼすCuの影響

堀田 善治, 増田 高大, フェビアン クヴィリー,
ザヴィア サヴァージ

銅合金の曲げ加工性に及ぼすミクロ組織因子の解析

楊箬 航大, 松島 蓮, 原 春子, 溝内 政樹,
伊藤 稔, 佐藤 成男

Materials Transactions 掲載論文

Vol. 67, No. 9 (2026)

——Overview——

Material Degradation of Heat-Resistant Steels during Long-Term Creep Exposure Kota Sawada

——Regular Article——

Microstructure of Materials

Multi-Dimensional Quantitative Analysis of Precipitates in the Hot-Rolled Al-1%Mn Alloy

Seiichiro Ii, Ken-ichi Ikeda and Toru Hara

Microstructural Analysis of Cu-Ti Alloys Micro-Alloyed with Al and Fe Using Replica Method

Satoshi Semboshi, Takuya Hashimoto and Hiroshi Hyodo

Mechanics of Materials

Enhanced Cavitation Resistance of HVOF-Sprayed NiCr/10WC Coatings in Deionized Water and 3.5 mass% NaCl Solution Ji Chen, Haonan Li, Ronghua Li, Yong Wang, Yong He, Li Ni and Liang Zhou

Ultrasonic Shot Peening Induced Intralayer Bimodal Grain Structure for Strength-Ductility Synergy in Al-10Si Alloy Kaiyuan Zhu

Fabrication and Mechanical Properties of Boron Carbide Particle-Reinforced Aluminum Matrix Composite Using Wet Shear Pulverization and Spark Plasma Sintering

Hiroki Kurita, Zhenjin Wang, Takeshi Oyama,
Laurent Chaffron and Fumio Narita

Work Hardening Driven by Grain-Scale Internal Stress Arising from Deformation Incompatibility

Yoshiki Kawano

Materials Chemistry

Kinetics on Carbosulfidation of the Mixture of Barium Sulfate and Lanthanum Oxide

Gen Kamimura, Matthew Michalek and Antoine Allanore

Influence of Co-Deposited Hydrogen on Microstructure of Electrodeposited Platinum Films from Chloro-Complex Solution

Naoki Fukumuro, Takeshi Kinoshita, Tomoya Hashimoto
and Shinji Yae

Applicability of Laser-Induced Vibration Method for Quality Modification and Evaluation of Carbonated Recycled Aggregate

Daisuke Ibaraki, Teppei Endo, Katsufumi Hashimoto,
Takafumi Sugiyama and Ryosuke Saito

Materials Processing

Cracking Behavior Induced by Shear Deformation Revealed on *In Situ* Observation in Semisolid Cu-0.1 mass% Fe-P Alloys with P Contents of 0.03–0.15 mass%

Kohei Komori, Motohiro Horiguchi,
Yutaka Urakawa, Tomohiro Nishimura, Taka Narumi
and Hideyuki Yasuda

Room Temperature Deflection Characteristics of Furan Self-Hardening Molds Fabricated Using Additive Manufacturing

Takato Homma, Yusuke Tomita and Toru Maruyama

Effects of Alumina Particle Characteristics on Thermal and Electrical Conductivity of Alumina Packed Layers for Immersion Heaters Used in Aluminum Melting

Kazuya Maeda, Kazuhiro Matsugi,
Kenjiro Sugio, Yong bum Choi, Kazuhiro Nakao
and Narumi Yoshimoto

Applicability of MPH Method to Die Casting Processes

Kentaro Akasaki, Masahiro Kondo,
Hitoshi Tokunaga, Keiji Shiga, Junichi Matsumoto
and Kazuya Shibata

Engineering Materials and Their Applications

Ca-Mn Composite Oxides as Effective Alternatives to Metal Nanoparticle Catalysts in CO Oxidation

Moe Hokugo and Toyokazu Tanabe

Delignified Wood-Based Anisotropic Scaffolds for Tissue Engineering

Kazumasa Ikeda, Sota Shimizu,
Mitsuru Abe, Takeshi Yabutsuka, Makoto Sakurai,
Akiko Obata, Masako Seki and Sungho Lee

30-Year SCC Resistance of Liquid Ammonia Tank Using Surface Softened Clad Steel Plates

Kyono Yasuda, Kaoru Hashimoto, Shinichi Miura,
Kazuhiro Shiotani and Takafumi Akai

Induction Heating of Motor Stator Core Using a Magnetically Closed-Loop

Wei-Sheng Ou, Hsing-Yi Chen and Shih-Kang Kuo

Interplay between Barrier Inhomogeneity and Interface States in Pt/n-GaN Schottky Barrier Diodes

Hogyoung Kim

Environment

Selective Removal of Chromium from Carbon Steel Slag by Alkaline Roasting Followed by Water Leaching

Masami Koide, Yutaro Takaya,
Hidehiro Kamiya and Chiharu Tokoro

Hematite-Based Scorodite Synthesis Process with Recirculation of Fe²⁺-Containing Solutions for Arsenic Stabilization

Ken Adachi, Atsushi Iizuka and Etsuro Shibata

—Technical Article—

Effect of Lattice Parameters of Master Pattern on EBSD Indexing via Pattern Matching

Tomotaka Hatakeyama and Kota Sawada

—Rapid Publication—

Investigation of Interconnection Properties of Solderable Polymer Composites Reinforced with Cu Nanoparticles

Jong-Moon Park, Jeong Il Lee,
Jong-Min Kim and Byung-Seung Yim

Announcement



～ 会誌・欧文誌オープンアクセスサービスについて ～

政府の統合イノベーション戦略推進会議が、国などの公的予算で行う研究については、成果をまとめた学術論文を無料で即時公開(オープンアクセス)するよう義務づける方針を決め、2025年度以降に公募する研究に適用されていることから、日本金属学会誌およびMaterials Transactionsにおいては、下記のように対応しております。是非ご活用下さい。

- 著者が希望すれば、欧文誌 55,000 円(税込み)、会誌 22,000 円(税込み)を追加負担してもらうことでオープンアクセス(OA)論文として公開します。

OA論文は、公開後すぐに誰でも無料で論文をダウンロードできることに加え、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス: CC BY-NC-ND)を付与した扱いとします。

これにより、許諾なしで転載が可能となります(非営利目的、改変をしない場合に限りです。また、著作権は金属学会が保持します)。

*従来のMaterials Transactions論文フリーアクセス(Open Choice)はサービスを終了しております。

詳細は下記のクリエイティブ・コモンズライセンスをご参照下さい。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>



まてりあ第65巻10号 予告

〔最近の研究〕重い電子系物質 CeSb₂ における「強磁性形状記憶効果」……………東北大 三宅厚志 許 晶 青木 大
〔最近の研究〕第一原理計算に基づくマテリアルズ・インフォマティクスによる新規強誘電体材料探索……………JFCC/東京科学大 森分博紀
〔入門講座〕永久磁石材料学の諸要素 6 回 保磁力の不安定平衡点モデルと熱活性化モデル(その2)……………フェロー 広沢 哲
〔実学講座〕「金属材料実験の手引き」3 章 ケーススタディ「材料編」

3-1 チタンおよびチタン合金の表面改質と機能評価……………東北大名誉教授 正橋直哉

—他—

編集の都合により変更になる場合がございます。

新 入 会 員

(2026年 6 月 1 日～2026年 6 月30日)

正 員

浅野 義 秀 株式会社日本製鋼所
海老名 航 東北大学
大嶋 元 啓 富山県立大学
荻野 勇 人 株式会社 IHI
片岡 啓 介 名城大学
金 根 佑 北海道大学
クレシュ ニキータ 国立研究開発法人物質・材料研究機構
高 鍾 斌 筑波大学

佐山 明 TPR 工業株式会社
関 宏 友 株式会社プロテリアル
関田 さや か 東北大学
武田 真理子 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
田 島 聖 士 JX 金属株式会社
Dahule Rohit 国立研究開発法人物質・材料研究機構
土屋 健 吾 太陽誘電株式会社
鳥居 真 人 東北大学

中路 良太郎 産業技術短期大学
野澤 光 兵庫県立工業技術センター
黄 胤 禎 東北大学
細田 裕 治 産業技術短期大学
堀井 達 哉 特許庁
山田 一 輝 三菱重工業株式会社
Yeonjoo Lee 東北大学
若林 優 治 長野県工業技術総合センター

学 生 員

相澤 奏 太 富山県立大学
相 曾 聡 大阪大学
青田 和 大 東北大学
吾妻 遼 東京大学
安藝 志 郎 東北大学
秋田 昇 輝 名古屋工業大学
朝倉 悠 介 東京科学大学
厚海 有 紀 芝浦工業大学
四阿 道 子 東京大学
荒井 貴 斗 山形大学
荒卷 謙 熊本大学
有水 大 輝 北海道大学
池上 優 希 大阪大学
伊澤 和 真 芝浦工業大学
石川 裕 太 東北学院大学
石渡 悠 翔 秋田大学
板津 駿 名古屋工業大学
市川 琉 星 室蘭工業大学
一 戸 藍 名古屋大学
一 柳 直 之 東京大学
伊東 慎 平 名古屋大学
伊東 大 翔 九州大学
井上 晟 佑 東北大学
井下 斐 加 里 信州大学
今井 悠 稀 東京大学
入江 優 太 群馬大学
岩瀬 陽 彦 横浜国立大学
岩田 献 土 東北大学
于 杭 池 東京大学
牛田 遼 士 朗 兵庫県立大学
梅田 一 樹 関西大学
榎本 岳 洋 東京科学大学
大國 浩 史 大阪公立大学
太田 雅 斗 大阪大学
大谷 幸 輝 東北大学
大谷 優 京都大学
大地 俊 輔 芝浦工業大学
大塚 岳 筑波大学
大坪 真 心 早稲田大学
大友 結 人 東京科学大学
大西 柊 東京科学大学
大野 文 聖 東京大学

大野 恭 太 郎 京都大学
大 原 蓮 名古屋工業大学
岡 幸 生 島根大学
岡 達 也 大阪大学
岡 千 智 福井大学
岡野 彩 人 関西大学
岡本 宏 太 郎 東北大学
岡山 千 紘 群馬大学
奥家 友 理 千葉大学
奥 蘭 皓 心 熊本大学
奥田 幸 應 関西大学
奥平 優 真 芝浦工業大学
押田 敦 也 金沢工業大学
小田 祥 大 熊本大学
小田 原 圭 吾 神戸大学
小野 光 翔 長崎大学
小野 航 九州大学
小野 慶 貴 関西大学
小野 僚 祐 東北学院大学
角田 健 悟 大阪公立大学
葛西 夏 生 弘前大学
笠原 千 暉 長岡技術科学大学
數 實 英 治 東北大学
片柳 司 筑波大学
勝間田 敬 茨城大学
加藤 健 太 東北大学
加藤 翔 太 名古屋工業大学
加藤 将 耀 名古屋大学
加藤 慎 九州大学
金谷 直 哉 関西大学
神山 歩 夢 岩手大学
辛島 崇 仁 大阪大学
河上 竜 也 北海道大学
川 寄 慧 斗 茨城大学
河鍋 翔 太 九州大学
河原 幸 生 芝浦工業大学
官野 将 也 東北大学
菅野 愛 九州大学
菊池 琥 太 郎 岩手大学
菊地 正 真 大阪公立大学
岸 勇 希 弘前大学
岸田 大 和 九州工業大学

岸本 涼 太 信州大学
喜多 結 子 横浜国立大学
木田 和 輝 富山大学
北川 涼 太 大阪大学
北野 結 香 信州大学
木津 雄 吾 長岡技術科学大学
城戸 宗 悟 九州工業大学
木下 心 詩 滋賀県立大学
倉橋 純 也 東北大学
黒澤 廉 東京科学大学
黒田 志 織 島根大学
郡司 颯 平 岩手大学
小岩 泰 治 東京科学大学
小島 礼 貴 神戸大学
児玉 俊 平 名古屋工業大学
小林 冬 空 島根大学
小林 丈 紘 東京大学
小林 大 朗 名古屋大学
小松 翔 真 東北大学
雑賀 飛 羽 島根大学
齋藤 千 紘 東北学院大学
酒井 秀 彰 福井大学
坂田 琢 馬 京都大学
坂卷 孝 哉 電気通信大学
坂本 航 平 千葉大学
佐々木 俊 輔 熊本大学
佐藤 駿 一 岡山大学
佐藤 志 研 秋田県立大学
佐橋 遼 太 郎 東京大学
澤田 空 名古屋工業大学
澤幡 光 輝 芝浦工業大学
三小田 倫 長崎大学
ジェン アン ジェン 東京科学大学
島田 将 志 富山大学
島村 心 優 関西大学
清水 真 岳 東北大学
清水 大 和 弘前大学
清水 公 貴 東北大学
下川 航 生 東北大学
首藤 悠 華 群馬大学
城之下 洸 斗 九州大学
城山 達 也 東北大学

沈 晨 宇	東京科学大学	中 田 智 子	東北大学	町 田 海 斗	信州大学
須 賀 大 翔	島根大学	仲 田 拓 馬	名古屋大学	松 井 稜 汰	豊橋技術科学大学
杉 本 凱 也	長崎大学	永 田 遥 輝	大阪公立大学	松 浦 英 晃	東京科学大学
杉 山 瑠 希	名古屋工業大学	永 田 航 大	神戸市立工業高等専門学校	松 岡 知 哉	名古屋工業大学
須 黒 拓 斗	群馬大学	中地翔太郎	富山大学	松 本 莉 奈	富山大学
鈴 木 康 平	芝浦工業大学	中 野 稜	大阪大学	松本康太郎	仙台高等専門学校
鈴 木 翔 也	関西大学	中 村 鉄	岩手大学	松 本 涼 佑	大阪大学
鈴 木 桂 一	東北大学	中 村 創	名古屋工業大学	水口凜太郎	熊本大学
須 山 泰 佑	京都大学	中 村 啓 亮	長岡技術科学大学	溝 上 翔 太	大阪大学
関 塚 毅 人	群馬大学	中村翔太郎	島根大学	南 斗 和	群馬大学
世 良 美 乃	東京科学大学	中 本 誠 也	早稲田大学	南 田 光 希	兵庫県立大学
善 田 楓 士	大阪大学	中 安 翼	東海大学	三 宅 賢 信	東京大学
宋 京 明	東京大学	中 山 輝	東京大学	宮 本 和 弥	東京大学
代 新 澳	群馬大学	那須田凌央	九州大学	村 岡 翔 太	大阪大学
田 岡 志 都	北海道大学	西 内 悠	東京大学	村 上 大 志	摂南大学
高 木 成 斗	芝浦工業大学	西 川 晴 翔	関西大学	村 上 知 優	秋田大学
高田有太郎	島根大学	西 添 健 太	島根大学	村 上 優 希	弘前大学
高 橋 悠 斗	神戸大学	沼 倉 知 真	北見工業大学	森 垣 浩 志	名古屋大学
多久島岳登	鹿児島大学	根 城 響 子	東北大学	森 田 琉 司	岩手大学
田 口 快 晴	宇都宮大学	萩 原 映 生	東京電機大学	森本なつ美	東京科学大学
武 位 祐 我	茨城大学	畑 山 瑠 衣	群馬大学	矢崎美瑠佳	北海道大学
武 田 拓 也	神戸大学	花 村 悠 太	龍谷大学	谷 内 将 平	東京大学
竹 山 太 智	九州大学	林 亮 佑	名古屋大学	矢 野 匠 真	金沢工業大学
田 島 汐 莉	芝浦工業大学	人 見 京 樹	関西大学	山 岡 丈 琉	東北大学
辰 島 諒	北海道大学	鄙 山 大 輝	島根大学	山 口 泰 知	秋田大学
立 岡 樹	熊本大学	平 野 開	京都大学	山 口 毅 人	筑波大学
田 中 大 晴	大阪公立大学	廣 瀬 歩	熊本大学	山 崎 亮 太	芝浦工業大学
田 辺 昂 己	島根大学	廣 瀬 昌 史	高知工科大学	山 崎 走 太	東北大学
谷 武 磨	富山大学	福 定 隼 也	長岡技術科学大学	山 本 翔 太	千葉工業大学
谷 川 樹	九州大学	福 田 蒼	九州大学	Yu Jiawei	東京大学
張 于 宙	九州工業大学	福 地 結 志	秋田大学	横 山 凌 大	大阪大学
塚 田 燦 志	東京科学大学	藤 田 開 成	岩手大学	吉 田 隼	大阪大学
辻 陽 也	大阪大学	船 橋 直 斗	名古屋工業大学	吉 野 友 陽	東北大学
辻 龍 希	九州大学	舟 橋 美 律	東京理科大学	吉 野 颯 人	宇都宮大学
對 馬 瑛 士	千葉大学	古 澤 七 瀬	島根大学	吉 村 陸 人	九州大学
土 屋 京	秋田大学	古 谷 美 帆	名古屋工業大学	依 田 知 也	東京大学
土 屋 学 叶	茨城大学	保 莉 倅 成	東北大学	米 倉 昂 河	大阪大学
堤 ひびき	東京理科大学	星 野 新	群馬大学	米 谷 亘 平	島根大学
津 留 奏 太	筑波大学	細 島 大 雅	筑波大学	Lâu Evan Puê-io'k	鹿児島大学
唐 嘉 蔓	秋田大学	堀 川 真 靖	九州工業大学	劉 家 祥	秋田大学
時 實 秀 和	大阪大学	前 川 和 哉	長岡技術科学大学	和 田 望	芝浦工業大学
戸野塚 悠	群馬大学	牧 航 聖	長崎大学	渡 邊 理 一	名古屋大学
富 田 悟 生	島根大学	益 子 裕 太	東京大学	渡 邊 奏	大阪大学
豊 田 義 倫	北海道大学	増 井 比 翼	大阪大学	鳴 海 ゆ ら	弘前大学
中島以后里	島根大学	増田杏太郎	長崎大学		
長 嶋 由 宇	群馬大学	増 野 雄 真	福井大学		

ユース会員

片 桐 碩 紀	岩手大学	齋 藤 賢 治	仙台高等専門学校	古 山 陽 太	岩手大学
小 谷 侑 汰	産業技術短期大学	竹 内 祐 人	津山工業高等専門学校	松 本 誠 弘	岩手大学



行事カレンダー

太字本会主催(ホームページ掲載)

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
2026年9月				
1	第36回安全管理の最新動向講習会(1)「情報・データ・安全・リスク」(関西大+ハイブリッド開催)	安全工学会	TEL 03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events	
1～30	オンデマンド配信：オンライン教育講座「めっき：成膜法としての基礎と材料化学的アプローチ」(本号686頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	9.8
1～2	第4回「水素が関わる材料科学の課題共有研究会」第20回「水素若手研究会」(広島)(6号437頁)	研究会 No. 85	k.asano@aist.go.jp https://unit.aist.go.jp/epri/hius-s/ja/events/index.html	
1～3	第23回 日本熱電学会学術講演会(TSJ2026)(九大)	日本熱電学会	TEL 092-583-7948 https://www.thermoelectrics.jp/conference.html	
2～4	2026年度高温材料の強度と組織設計研究会(金沢)(7号545頁)	研究会No.93	hightemp.maters.gr@gmail.com https://forms.gle/nUtTEE5eA7VirCRm9	
2～4	2026年度工学教育研究講演会(岐阜大)	日本工学教育協会	2026_jsee_conference@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/	
3～4	特定放射光施設シンポジウム2026(京都)	特定放射光施設 ユーザー協団体 (SpRUC)	TEL 050-3496-8833 users@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2026/sp8sympo2026/	
3～5	第29回 XAFS 討論会(名大)	日本 XAFS 研究会	https://www.jxafs.org/conference/	
6～11	11th International Congress on Ceramics(札幌)	日本セラミックス協会	TEL 03-3362-5232 icc11@ceramic.or.jp https://www.ceramic.or.jp/icc11/	
8～10	資源・素材2026(福岡工業大)	資源・素材学会	https://pub.comfitatlas.jp/ja/event/mmij2026b	
9～11	トライボロジー会議2026 秋(名城大)	日本トライボロジー学会	2026nagoya@tribology.jp https://www.tribology.jp	
9～11	第9回 国際工業炉・関連機器展「サーモテック2026」(東京)	日本工業炉協会	TEL 03-3262-8410 info@thermotec-expo.com	
11	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号688頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
14～15	第273回塑性加工技術セミナー「有限要素法 入門セミナー」	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp/	
14～16	第39回計算力学講演会(大阪工大)	日本機械学会	TEL 03-4335-7610 https://www.jsme.or.jp/conference/cmdconf26/index.html	
15～17	2026年日本表面真空学会学術講演会(JVSS2026)(郡山)	日本表面真空学会	TEL 03-3812-0266 taikai2026@jvss.jp	
16	第366回塑性加工シンポジウム「塑性加工を支える金型・プレス設備寿命向上技術に関する最新動向」(名城大+ハイブリッド開催)	塑性加工学会	https://www.jstp.or.jp	80名 (対面)
16～18	第28回日本感性工学会大会(東京)	日本感性工学会	jske28@jske.org https://www.jske.org/conference/jske28/	
18	アノード酸化皮膜の機能化部会(ARS 部会)第120回例会—2026年度チュートリアル：アノード酸化の基礎—(工学院大)	表面技術協会・アノード酸化皮膜の機能化部会(ARS 部会)	ars@sfj.or.jp http://ars.sfj.or.jp/	9.4
22	学生ポスター発表プレ討論会(秋田大)(7号533頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	定員 30名
23	日本金属学会・日本鉄鋼協会秋期講演大会懇親会(秋田)(本号667頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	
23	第8回自動車関連材料合同シンポジウム「持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向」(秋田大)(本号670頁)	日本金属学会 日本鉄鋼協会	TEL 022-223-3685 secretary_gen@jimm.jp	
23～25	日本金属学会秋期講演大会・高校生ポスター発表(秋田大)(本号667頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp https://pub.conf.itatlas.jp/ja/event/jimm2026fall	後期参加 9.25
23～25	M&M2026 材料力学カンファレンス(阪大)	日本機械学会	https://pub.conf.itatlas.jp/ja/event/mmdmpdconf2026/content/outline	
24～25	第18回 役に立つ真空技術入門講座(大阪公立大+ハイブリッド開催)	日本表面真空学会 関西支部	TEL 079-267-4877 syoin-yakunitatsu@jvss-kansai.jp https://jvsskansai.smoosy.atlas.jp/ja/nyumon18	9.10
25	日本鉄鋼協会・日本金属学会第15回女性会員のつどい(秋田大)(本号670頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685	
25	令和8年秋季 全国大学材料関係教室協議会(秋田大)(本号670頁)	全国大学材料関係 教室協議会		
25	レアメタル研究会 シンポジウム(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号688頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
27	第104回塑性加工技術フォーラム「時代の変化に挑む中四国地方のものづくり」(香川大)	日本塑性加工学会	https://www.jstp.or.jp	150名
28～29	第77回塑性加工連合講演会(香川大)	日本塑性加工学会	TEL 03-3435-8301 http://www.jstp.or.jp	

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
28～29	オンライン教育講座「材料組織弾性学の基礎と応用」(本号684頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	9.14
29～30	第51回復合材料シンポジウム(北大)	日本複合材料学会	TEL 03-5981-6011 jscm@asas-mail.jp	
30～10.1 ほか	第48回安全工学セミナー(東京)	安全工学会	TEL 03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events	
2026年10月				
1～30	オンデマンド配信: オンライン教育講座「凝固の科学」(本号686頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online/	10.8
5	第261回西山記念技術講座「実測データに基づいたプロセス制御・計測技術」(早稲田大)	日本鉄鋼協会	TEL 03-3669-5933 educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2026/nishiyama261.html	9.3
6	第19回フラクトグラフィシンポジウム(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 fractosym@jsms.jp http://www.jsms.jp/	講演 7.31
6～7	第7回EBSD法による損傷評価講習会	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	9.11
6～9	第12回材料WEEK(京都)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	
7～8	第48回初心者のための疲労設計講習会(京都+ハイブリッド開催)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@office.jsms.jp	9.25
7～9	Advanced Metallization Conference 2026 (ADMETA)(東京・オンライン)	応用物理学会	TEL 03-5962-3145 jimukyoku@admata.org https://www.admeta.org/	
8	金属学会講習会「～電気化学インピーダンス測定・解析の基礎と応用: 電池から腐食まで～」(阪大)(本号680頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/symposium/seminar.html	9.29
13	第137回シンポジウム「チタンの現状と将来を知る ～チタンの基礎から応用事例まで～」(関西大+ハイブリッド開催)	軽金属学会	TEL 03-3538-0232 https://www.jilm.or.jp/	100名
15	第36回安全管理の最新動向講習会(2)「化学物質による様々なリスク」(東京+ハイブリッド開催)	安全工学会	TEL 03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events	10.1
19～23	ACSIN-16/ICSPM34(姫路)	応用物理学会	TEL 079-267-4909 heya@eng.u-hyogo.ac.jp https://dora.bk.tsukuba.ac.jp/event/acsin16/	
21～23	第73回材料と環境討論会(札幌)	腐食防食学会	TEL 03-3815-1161 ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp https://www.jcorr.or.jp/yotei/731021.html	
22～23	表面分析実践講座エキスパート2026「実践! 最新走査電子顕微鏡を用いた高度な実習」(東北大)	日本表面真空学会	TEL 03-3812-0266 office@jvss.jp	9.28
22～23	第62回X線分析討論会(松江)	日本分析化学会X線分析研究懇談会	https://xbun.jsac.jp/conference/no62.html	
23	第274回塑性加工技術セミナー「伸線・伸管(引抜き)加工の基礎技術」(東京)	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp	100名
23～25	日本銅学会第66回講演大会(北大)	日本銅学会	TEL 03-6803-0587 dou-gakkai@copper-brass.gr.jp	
26～27	第25回アコースティック・エミッション総合コンファレンスー“音や振動”で拓くNDEの最前線ー(北大)	日本非破壊検査協会	TEL 03-5609-4015 yasoshima@jsndi.or.jp https://sciences.jsndi.jp/acoustic/	
28～29	第54回日本ガスタービン学会定期講演会(下関)	日本ガスタービン学会	TEL 03-3365-0095 gtsj-office@gtsj.or.jp	
31	関東支部山梨講演会2026(山梨大)	日本機械学会関東支部	TEL 055-220-8432 sohara@yamanashi.ac.jp	事前 10.16
2026年11月				
2～30	オンデマンド配信: オンライン教育講座「耐熱材料」(本号684頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	11.9
6, 13, 20, 27, 12.4	粉末冶金の科学講座1～5(オンライン)	粉体粉末冶金協会	TEL 075-721-3650 info@jspm.or.jp	
1～6	【lead-Zinc 2026】11 th International Symposium on Lead and Zinc Processing 第11回鉛-亜鉛製錬に関する国際シンポジウム(仙台)	資源・素材学会	TEL 03-3402-0541 lead-zinc2026@mmij.or.jp	
5	スマートプロセス学会2026年度学術講演会(大阪)	スマートプロセス学会	TEL 06-6879-8698 sps-office@smartprocess.or.jp	
6	第262回西山記念技術講座「実測データに基づいたプロセス制御・計測技術」(大阪+ハイブリッド)	日本鉄鋼協会	TEL 03-3669-5933 educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/event/event2026/nishiyama261.html	9.3
6	レアメタル研究会・チタンシンポジウム(東大生産技研/ハイブリット開催)(本号689頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
8～13	The 12th International Conference on Multiscale Materials Modeling(韓国済州)	KIM(The Korean Institute of Metals and Materials)	TEL +82-2-573-6207 secretariat@mmm12.org https://www.mmm12.org/	
9～11	第37回疲労シンポジウム(伊勢)	日本材料学会	TEL 075-761-5321 jimu@jsms.jp http://fatigue.jsms.jp	
10	公開シンポジウム「大型プロジェクトによるバイオマテリアル研究開発」(神戸)	日本学術会議材料工学会委員会・同バイオマテリアル分科会	nakano@mat.eng.osaka-u.ac.jp	

開催日	名称・開催地・掲載号	主催	問合せ先	締切
11	第275回塑性加工技術セミナー「金属積層造形プロセスのシミュレーションおよび最適化」(大同大)	日本塑性加工学会	https://www.jstp.jp	50名
11~13	第47回超音波エレクトロニクスの基礎と応用に関するシンポジウム(北九州)	超音波エレクトロニクス協会	TEL 03-3259-0766 steering@use-jp.org https://www.use-jp.org/USE2026/sponsor/index.html	
12~13	オンライン教育講座「構造材料の観察・分析技術(1):バルク組成分析」(本号681頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	
13	第28回ミレニアム・サイエンスフォーラム(東京)	ミレニアム・サイエンス・フォーラム	TEL 03-6744-4713 msf@oxinst.com https://www.msforum.jp/	
13~14	第105回塑性加工技術フォーラム「精密プレス加工の最新動向とこれから目指すべき方向性」(長野)	日本塑性加工学会, 諏訪圏工業メッセ2026実行委員会	https://www.jstp.jp	75名
13~15	軽金属学会第151回秋期大会(水戸+ハイブリッド開催)	軽金属学会	https://www.jilm.or.jp/convention/index	
17	第66回「現場の硬さ試験」講習会(東京都市大)	日本材料試験技術協会	TEL 047-431-7451 gyomu2@ystl.jp	10.22
19~20	第58回溶融塩化学討論会(東北大)	電気化学会溶融塩委員会	https://msc.electrochem.jp/symposium/symposium.html	
21~23	第47回日本熱物性シンポジウム(東京科学大)	日本熱物性学会	info2026@jstp-symp.org https://jstp-symp.org/symp2026/	
21~23	第62回熱測定討論会(東京科学大)	日本熱測定学会	TEL 03-6310-6831 netsu@mbd.nifty.com https://www.netsu.org	
24~26	第55回結晶成長国内会議(JCCG-55)(北大)	日本結晶成長学会	TEL 070-5047-3339 jccg-55@jacg.jp https://www.jacg.jp/jp/event/2026/jccg-55/index.html	
26~27	第59回安全工学研究発表会(山形+ハイブリッド開催)	安全工学会	TEL 03-6206-2840 jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/Events	11.4早期参加登録
26~27	第64回高温強度シンポジウム(奈良)	日本材料学会	TEL 075-761-5325 jimu@office.jsms.jp http://www.jsms.jp/	参加10.16
2026年12月				
2	実用表面分析セミナー2026(神戸大)	日本表面真空学会関西支部	https://jvsskansai.smoosy.atlas.jp/ja/kansai_jitsuyou27	12.1
2~4	日本中性子科学会第26回年会(九大)	日本中性子科学会	TEL 092-871-6631(6241) jsns2026@fukuoka-u.ac.jp	
3~4	オンライン教育講座「医療用金属材料の基礎2」(本号682頁)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 meeting@jimm.jp https://jimm.jp/event/online	11.26
3~4	第35回新構造・機能制御と傾斜機能材料シンポジウム(FGMs 2026)(北大)	傾斜機能材料研究会	https://fgms.net/event-info/domestic-symposium/	
4~5	第37回信頼性シンポジウム—安心・安全を支える信頼性工学の新展開(愛媛大)	日本材料学会	https://www.jsms.jp	講演9.18
8~9	第32回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(Mate2026)(横浜)	スマートプロセス学会他	TEL 06-4798-2078 mate@glm-p.com https://sps-mste.jp/mate/	6.30
14~16	第52回固体イオニクス討論会(九州)	固体イオニクス学会	TEL 022-217-5341 ssij@ssj-j.org https://www.ssi-j.org/symp/ssij52/	事前10.30
2027年1月				
8	レアメタル研究会・貴金属シンポジウム(東大生産技研)(本号689頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
22	粉末冶金実用・応用講座(京都+ハイブリッド開催)	粉体粉末冶金協会	TEL 075-721-3650 info@jspm.or.jp	1.12
2027年3月				
8~10	日本金属学会春期講演大会(東京科学大大岡山)	日本金属学会	TEL 022-223-3685 annualm@jimm.jp	11号会告
17~19	2027年塑性加工春季講演会(日大)	日本塑性加工学会	TEL 03-3435-8301 http://www.jstp.or.jp	
12	レアメタル研究会(東大生産技研/ハイブリッド開催)(本号689頁)	レアメタル研究会	TEL 03-5452-6314 okabelab@iis.u-tokyo.ac.jp https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp	
2027年6月				
14~18	第11回世界製鉄会議(ICSTI 2027)(札幌)	日本鉄鋼協会	TEL 011-272-2151 icsti2027@c-linkage.co.jp https://www.icsti2027.com/	
2027年9月				
22~24	日本金属学会秋期講演大会(広島大学東広島キャンパス)	日本金属学会	TEL 022-223-3687 annualm@jimm.jp	

まてりあ 第65巻 第9号(2026) 発行日 2026年9月1日 定価1,870円(本体1,700円+税10%)送料320円

発行所 公益社団法人日本金属学会

〒980-8544 仙台市青葉区一番町一丁目14-32

TEL 022-223-3685 FAX 022-223-6312

発行人 谷山 明

印刷所 小宮山印刷工業株式会社

発売所 丸善雄松堂株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川 1-28-23